

市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事

設計図目次

図面リスト								
番 号			図面名			番 号		
A-01	特記仕様書（改修1）	A1:- A3:-	A-39	市営中央駐車場 B階段平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	E-01	電気設備特記仕様書 1	A1:- A3:-
A-02	特記仕様書（改修2）	A1:- A3:-	A-40	市営中央駐車場 B階段断面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	E-02	電気設備特記仕様書 2	A1:- A3:-
A-03	特記仕様書（改修3）	A1:- A3:-	A-41	市営中央駐車場 C階段平面詳細図・断面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	E-03	1階便所電灯設備図（改修前・後）	A1:1/50 A3:1/100
A-04	特記仕様書（改修4）	A1:- A3:-	A-42	市営中央駐車場 1階WC平面詳細図・展開図	A1:1/50 A3:1/100	E-04	1階コンセント設備図（改修後）	A1:1/50 A3:1/100
A-05	特記仕様書（改修5）	A1:- A3:-	A-43	市営中央駐車場 天井伏図（改修前）	A1:1/50・100 A3:1/100・200	E-05	B1階幹線設備図（改修前・後）	A1:1/150 A3:1/300
A-06	特記仕様書（改修6）	A1:- A3:-	A-44	市営中央駐車場 天井伏図（改修後）	A1:1/50・100 A3:1/100・200	E-06	1階誘導支援設備図（改修後）	A1:1/50 A3:1/100
A-07	市営中央駐車場 敷地案内図・配置図	A1:1/300 A3:1/600	A-45	市営中央駐車場 建具表	A1:1/50 A3:1/100			
A-08	市営中央駐車場 仕上表・B2階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-46	市営中央駐車場 建具表	A1:1/50 A3:1/100	M-01	建築機械設備特記仕様書 1	A1:- A3:-
A-09	市営中央駐車場 仕上表・B2階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-47	市営中央駐車場 部分詳細図（1）（改修前）	A1:1/20 A3:1/40	M-02	建築機械設備特記仕様書 2	A1:- A3:-
A-10	市営中央駐車場 B1階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-48	市営中央駐車場 部分詳細図（1）（改修後）	A1:1/20 A3:1/40	M-03	給排水衛生設備 凡例・器具機器表(改修前・改修後)	A1:- A3:-
A-11	市営中央駐車場 B1階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-49	市営中央駐車場 部分詳細図（2）（改修前）	A1:1/20 A3:1/40	M-04	給排水衛生設備 B2階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200
A-12	市営中央駐車場 1階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-50	市営中央駐車場 部分詳細図（2）（改修後）	A1:1/20 A3:1/40	M-05	給排水衛生設備 B1階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200
A-13	市営中央駐車場 1階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-51	市営中央駐車場 部分詳細図（3）（改修前）	A1:1/50 A3:1/100	M-06	給排水衛生設備 1階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200
A-14	市営中央駐車場 2階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-52	市営中央駐車場 部分詳細図（3）（改修後）	A1:1/50 A3:1/100	M-07	給排水衛生設備 2階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200
A-15	市営中央駐車場 2階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-53	市営中央駐車場 部分詳細図（4）（改修前）	A1:1/20 A3:1/40	M-08	給排水衛生設備 B2階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200
A-16	市営中央駐車場 3階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-54	市営中央駐車場 部分詳細図（4）（改修後）	A1:1/20 A3:1/40	M-09	給排水衛生設備 B1階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200
A-17	市営中央駐車場 3階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-55	市営中央駐車場 仮設計画図（内部）	A1:1/300 A3:1/600	M-10	給排水衛生設備 1階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200
A-18	市営中央駐車場 4階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-56	市営中央駐車場 ステップ図（参考）	A1:- A3:-	M-11	給排水衛生設備 2階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200
A-19	市営中央駐車場 4階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-57	市庁舎北館 敷地案内図・配置図・仕上表	A1:1/300 A3:1/600	M-12	給排水衛生設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	A1:1/50 A3:1/100
A-20	市営中央駐車場 5階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-58	市庁舎北館 1階・2階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	M-13	換気設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	A1:1/50 A3:1/100
A-21	市営中央駐車場 5階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-59	市庁舎北館 1階・2階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200			
A-22	市営中央駐車場 R階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-60	市庁舎北館 3階・4階・5階平面図	A1:1/100 A3:1/200			
A-23	市営中央駐車場 R階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-61	市庁舎北館 R階平面図（改修前）	A1:1/100 A3:1/200			
A-24	市営中央駐車場 立面図（1）（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-62	市庁舎北館 R階平面図（改修後）	A1:1/100 A3:1/200			
A-25	市営中央駐車場 立面図（1）（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-63	市庁舎北館 立面図（1）（改修前）	A1:1/100 A3:1/200			
A-26	市営中央駐車場 立面図（2）（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-64	市庁舎北館 立面図（1）（改修後）	A1:1/100 A3:1/200			
A-27	市営中央駐車場 立面図（2）（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-65	市庁舎北館 立面図（2）（改修前）	A1:1/100 A3:1/200			
A-28	市営中央駐車場 立面図（3）（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-66	市庁舎北館 立面図（2）（改修後）	A1:1/100 A3:1/200			
A-29	市営中央駐車場 立面図（3）（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-67	市庁舎北館 断面図	A1:1/100 A3:1/200			
A-30	市営中央駐車場 立面図（4）（改修前）	A1:1/100 A3:1/200	A-68	市庁舎北館 断面詳細図（改修前）	A1:1/50 A3:1/100			
A-31	市営中央駐車場 立面図（4）（改修後）	A1:1/100 A3:1/200	A-69	市庁舎北館 断面詳細図（改修後）	A1:1/50 A3:1/100			
A-32	市営中央駐車場 断面図	A1:1/100 A3:1/200	A-70	市庁舎北館 建具表	A1:1/50 A3:1/100			
A-33	市営中央駐車場 矩計図（1）（改修前）	A1:1/50 A3:1/100	A-71	市庁舎北館 部分詳細図（改修前）	A1:1/50 A3:1/100			
A-34	市営中央駐車場 矩計図（1）（改修後）	A1:1/50 A3:1/100	A-72	市庁舎北館 部分詳細図（改修後）	A1:1/50 A3:1/100			
A-35	市営中央駐車場 矩計図（2）（改修前）	A1:1/50 A3:1/100	A-73	渡り廊下 屋根伏図、鉄骨伏図	A1:1/100 A3:1/200			
A-36	市営中央駐車場 矩計図（2）（改修後）	A1:1/50 A3:1/100	A-74	渡り廊下 立面図、断面図、詳細図	A1:1/100 A3:1/200			
A-37	市営中央駐車場 A階段平面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-75	仮設計画図（外部）	A1:1/300 A3:1/600			
A-38	市営中央駐車場 A階段断面詳細図	A1:1/50 A3:1/100	A-76	芝生広場仮設計画図	A1:1/300 A3:1/600			

藤川設計株式会社

市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事			工事特記仕様書		
総則 工事概要 1. 共通仕様 2. 特記仕様 部分完成 部分引渡し 1) 保険及び保証 2) 建設共済等					
章	項目	特記事項			
1章 一般 共通 事項	①適用基準等	①建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 28 年版） ※工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成 30 年版）			
	②工事実績情報の登録 ③品質計画	※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。 [1.1.4] ※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※風速（Vo）=34 m毎秒 地表面粗度 ※Ⅲ（Zb=5 Zg=450 α=0.20） ・Ⅱ（Zb=5 Zg=350 α=0.15） 積雪区分 ※30 cm ・40 cm			
	4電気保安技術者	・適用する。 ・適用しない。 [1.3.3] 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。 「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和6年7月19日改正適用）に基づく適用は下記による。 ・週休2日制工事対象 ・週休2日制工事（受注者希望型）対象 ○週休2日制対象外工事（・工事の実働日数が30日未満の工事 ○現場閉所困難な工事） 完全週休2日制工事（受注者希望型含む）の現場閉所日については下記による。 ●土日閉所（ただし、 / ～ / については土日作業とすること。） ・土日以外閉所 ※土日以外閉所における現場閉所日は、着事前に監督職員と協議の上設定すること。 なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。			
	⑤1 週休2日制工事	○週休2日制対象外工事の現場閉所日については下記による。 [1.3.5] ※土日閉所 ○土日以外閉所 ○現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。 ○工事用車両の駐車場及び資機材置場 ※敷地内 ・ ○工事着事前に周辺住民への工事説明会が開催される場合は資料作成等に協力すること。 ○施工作业時間は原則8:30～17:00とすること。清掃片付け等は18:00までとすること。 ○施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行うこと。 ○工事に関わる法令手続きは受注者にて行うこと。手続きに係る手数料は受注者の負担（道路占用許可申請における占用料は除く）とする。			
	⑤2 施工条件	○資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。 ○大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること。 ○高さ10mを超える足場を60日以上設置する場合は、着手の30日前までに、設置届を所管官庁へ提出すること。 ○道路の汚損がないように努めると共に、汚損した場合は直ちに清掃を行うこと。 ○既設構造物を汚損した場合は、受注者負担にて補修等を行うこと。 ○工事期間中は、近隣住民の安全確保に努めること。			
		※産業廃棄物税 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、 請負者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象とな った場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付 して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求する ことができる。			
		⑥発生材の処理			
		⑦交通安全管理			
		⑧建築材料等			
		⑨化学物質を発散する 建築材料等			
		⑩特別な材料の工法			
		⑪石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			
		①石綿含有建材の調査			
		⑫技能士			
		13 化学物質の濃度測定			
		⑭完成図			
		⑮記録			
		⑯設備工事との取合い			
		⑰設計G L			
		⑱完成引渡し後の点検			
		⑲随時検査			
		⑳施工体制台帳の提出			
		㉑資源有効利用促進			
		①特別な材料の工法			

2章 仮設工事	①足場その他	内部足場 種別 ※きやつ、足場板等 ・ [2.2.1] 外部足場 種別 ※くさび緊結式（手すり先行工法） ・ [2.2.1] 防護シートによる養生 ・ 行わない ○行う ※1類 （・帆布製 ※網地製） 騒音・粉じん等の対策 ・ 行わない ○行う（・防音パネル ○防音シート） [2.1.3] 材料、撤去材等の運搬 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 [2.2.1][表2.2.1]	⑤塗膜防水	[表3.1.1][3.6.2～3][表3.6.1] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別</th><th>仕 上 げ 塗 料 等</th></tr><tr><td>図 示</td><td>駐車場[※]、[※]北館屋上・[※]庇</td><td>X-1、X-2</td><td>有（透熱トップコート） （自射反射率50%以上）</td></tr></table> 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去（L4X工法） ・ 除去する [3.2.6] 脱気装置 ・ 設けない ○設ける 施工標識 ※設ける ・ 設けない	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別	仕 上 げ 塗 料 等	図 示	駐車場 [※] 、 [※] 北館屋上・ [※] 庇	X-1、X-2	有（透熱トップコート） （自射反射率50%以上）	⑥浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.10～16][表4.4.3～4] <table><tr><th>改修工法の種類</th><th colspan="2">アンカービンの本数(本/m²)</th><th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m²)</th><th>充てん量</th></tr><tr><td>(モルタルを撤去しない場合)</td><td>一般部</td><td>指定部</td><td>一般部</td><td>指定部</td><td>注入量</td></tr><tr><td>○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 16</td><td>※ 25</td><td></td><td></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面 ホリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 13</td><td>※ 20</td><td>※ 12</td><td>※ 20</td><td>・ 25ml ※50ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td></td><td></td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※25ml</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面 ホリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※ 9</td><td>※ 16</td><td>※50ml</td></tr></table> ※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする アンカーピン [4.2.4] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径 4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピン [4.2.4] 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径 6mm	改修工法の種類	アンカービンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		充てん量	(モルタルを撤去しない場合)	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量	○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25			※25ml	・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※25ml	・アンカーピンニング全面 ホリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	・ 25ml ※50ml	・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16			※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※25ml	・注入口付アンカーピンニング全面 ホリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※50ml
	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別	仕 上 げ 塗 料 等																																																										
	図 示	駐車場 [※] 、 [※] 北館屋上・ [※] 庇	X-1、X-2	有（透熱トップコート） （自射反射率50%以上）																																																										
	改修工法の種類	アンカービンの本数(本/m ²)		注入口の箇所数(箇所/m ²)		充てん量																																																								
(モルタルを撤去しない場合)	一般部	指定部	一般部	指定部	注入量																																																									
○アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16	※ 25			※25ml																																																									
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	※25ml																																																									
・アンカーピンニング全面 ホリマーセメントスラリー注入工法	※ 13	※ 20	※ 12	※ 20	・ 25ml ※50ml																																																									
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16			※25ml																																																									
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※25ml																																																									
・注入口付アンカーピンニング全面 ホリマーセメントスラリー注入工法	※ 9	※ 16	※ 9	※ 16	※50ml																																																									
②養生その他	既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 ・ [2.3.1] 固定家具等の移動 ※行わない ・ 行う(図示)		⑥保証期間																																																											
③仮設間仕切り	(a)設置箇所 ※図示 ・ [2.3.2][表2.3.1] <table><tr><th>種別</th><th>下 地</th><th>仕上材（厚さ mm）</th><th>充てん材</th><th>塗 装</th></tr><tr><td>・ A種</td><td>※軽量鉄骨</td><td>・ 合板（※9.0 ・ ）</td><td></td><td>※無し</td></tr><tr><td>・ B種</td><td>・ 木下地</td><td>※せっこうボード（※9.5 ・ ）</td><td>厚さ mm</td><td>・ 片面</td></tr><tr><td>・ C種</td><td>単管下地</td><td>防炎シート</td><td></td><td></td></tr><tr><td>仮設扉</td><td>※木製扉</td><td>・ 合板張り程度</td><td></td><td>※無し</td></tr><tr><td></td><td>・ 鋼製扉</td><td>・ 片面フラッシュ程度</td><td></td><td>・ 有り</td></tr></table>	種別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装	・ A種	※軽量鉄骨	・ 合板（※9.0 ・ ）		※無し	・ B種	・ 木下地	※せっこうボード（※9.5 ・ ）	厚さ mm	・ 片面	・ C種	単管下地	防炎シート			仮設扉	※木製扉	・ 合板張り程度		※無し		・ 鋼製扉	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り	⑦シーリング	○シーリング充填工法 ・ シーリング再充填工法 [3.1.4][表3.1.2] ・ 拡幅シーリング再充填工法 ・ ブリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 [3.7.2][表3.7.1] ※下表以外は、改修標準表 3.7.1を標準とする <table><tr><th>施 工 箇 所</th><th>シーリング材の種類（記号）</th></tr><tr><td>図 示</td><td>図 示</td></tr></table> シーリングの試験 ※行わない ・ 行う（※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験） 材質 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ホリ塩化ビニル管（VP） ○硬質ホリ塩化ビニル管（VP） [3.8.2(1)] とい受け金物 ※SUS製 ・ 亜鉛メッキ製 ルーフドレン ※JCW301（日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格） ・ 図示による [3.8.2(1)] 表面処理 ・ AB-1種 ※BB-1種 [3.9.2]	施 工 箇 所	シーリング材の種類（記号）	図 示	図 示	⑧と い																								
種別	下 地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗 装																																																										
・ A種	※軽量鉄骨	・ 合板（※9.0 ・ ）		※無し																																																										
・ B種	・ 木下地	※せっこうボード（※9.5 ・ ）	厚さ mm	・ 片面																																																										
・ C種	単管下地	防炎シート																																																												
仮設扉	※木製扉	・ 合板張り程度		※無し																																																										
	・ 鋼製扉	・ 片面フラッシュ程度		・ 有り																																																										
施 工 箇 所	シーリング材の種類（記号）																																																													
図 示	図 示																																																													
④監督職員事務所	○設ける 規模等は以下による ・ 既存施設の一部を使用する ※設けない [2.4.1] （・規模 m ² 程度 ・ 仕上げ；床 ・ 壁 ・ 天井 程度）		⑧と い																																																											
⑤工事用水	構内既存の施設 ※利用できる（○有償 ※無償） ・ 利用できない																																																													
⑥工事用電力	構内既存の施設 ※利用できる（○有償 ※無償） ・ 利用できない																																																													

3章 防水改修工事	①既存下地の補修及び処置	※図示による [3.2.6] 既存露出防水層表面の仕上塗装の除去 ・ する ・ しない	4章 外壁改修工事	①施工数量調査	[表3.1.1][3.3.2～3][表3.3.1.1][表3.3.3～10] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> アスファルトの種類 ※3種 ・ 押え金物 ※アルミニウム製（L-30x15x2.0程度） 脱気装置 ・ 製造所の指定する製品 ・ ステンレス製 設置数量（ ）箇所 改修用ドレン ※設ける（ ）箇所 ※銅製 ・ 鉛製 ・ 設けない [3.2.5] 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き） 厚さ（mm） ※35 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 材質 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 厚さ（mm） ※35 乾式保護材 製造所の仕様による ・ 防水保護のれんがの種類 ※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック 保護コンクリート仕上り平たんさ種別 ・ a種 ・ b種 ・ c種 [3.3.5][8.1.4][表8.1.5] 仕上塗装（P2A、M3D、POD、PODI、M3DI、M4DI、工法） ※種類および使用量は製造所の仕様による 施工標識 ※設ける ・ 設けない	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別				②改修工法の種類	[4.1.4～5] <table><tr><th>外壁の種類</th><th>種 類</th><th>改 修 工 法</th></tr><tr><td>○コンクリート 打放し仕上げ</td><td>○ひび割れ部 ・ 欠損部</td><td>○樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ・ 充填工法 ・</td></tr><tr><td>○モルタル塗り 仕上げ</td><td>・ ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部</td><td>・ 樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ○充填工法 ・ モルタル塗替工法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○充填工法</td></tr><tr><td>○タイル張り仕 上げ</td><td>○ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部 ○目地</td><td>・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ○タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○伸縮調整目地改修工法</td></tr><tr><td>○塗り仕上げ</td><td>・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り</td><td>○可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り</td></tr></table>	外壁の種類	種 類	改 修 工 法	○コンクリート 打放し仕上げ	○ひび割れ部 ・ 欠損部	○樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ・ 充填工法 ・	○モルタル塗り 仕上げ	・ ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部	・ 樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ○充填工法 ・ モルタル塗替工法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○充填工法	○タイル張り仕 上げ	○ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部 ○目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ○タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○伸縮調整目地改修工法	○塗り仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り	○可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																				
	防水改修工法の種類	施 工 箇 所		新規防水層の種別																																												
	外壁の種類	種 類		改 修 工 法																																												
○コンクリート 打放し仕上げ	○ひび割れ部 ・ 欠損部	○樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ・ 充填工法 ・																																														
○モルタル塗り 仕上げ	・ ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部	・ 樹脂注入工法・Uカットシール材充填工法・シール工法 ○充填工法 ・ モルタル塗替工法 ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○充填工法																																														
○タイル張り仕 上げ	○ひび割れ部 ○欠損部 ○浮き部 ○目地	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ○タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ○アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ○伸縮調整目地改修工法																																														
○塗り仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り	○可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り																																														
2 アスファルト防水																																																
3 改質アスファルトシート防水		[表3.1.1][3.4.2～3][表3.4.1～3] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別（厚さmm）</th><th>仕 上 げ 塗 料 等</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 脱気装置 ・ 製造所の指定する製品 ・ ステンレス製 設置数量（ ）箇所 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 ・ 製造所の指定する製品 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 施工標識 ※設ける ・ 設けない	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕 上 げ 塗 料 等					③ひび割れ部改修工法	[4.1.4][4.2.5] <table><tr><th>樹脂注入工法（・モルタル面 ○躯体コンクリート面）</th><th colspan="2">[4.1.4][4.2.5]</th></tr><tr><td>注入工法の種類</td><td>ひび割れ幅（mm）</td><td>注入口間隔（mm）</td></tr><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～1.0未満</td><td>※200～300</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上～0.3未満</td><td>※50～100</td></tr><tr><td></td><td>0.3以上～0.5未満</td><td>※100～200</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上～1.0未満</td><td>※150～250</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※130 ・</td></tr></table> 注入材料 [4.2.4] ※建築補修用注入エポキシ樹脂（JIS A 6024低粘度形又は中粘度形） 検査（コア抜き取り） ・ 行わない ※行う（抜き取り部の補修方法： ） ・ Uカットシール材充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.6] 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ポリマーセメントモルタルの充填 ※行う ・ 行わない ・ シール工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.7] シール材料 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ※充填工法 [4.1.4][4.2.4][4.2.8] 充填材料 ・ ポリマーセメントモルタル（・モルタル面 ・コンクリート面 ・C B面） ○エポキシ樹脂モルタル（ ） ・モルタル塗替え工法（改修標準4.3.5(5)による）	樹脂注入工法（・モルタル面 ○躯体コンクリート面）	[4.1.4][4.2.5]		注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100		0.3以上～0.5未満	※100～200	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250			※130 ・	⑧設計数量	[4.5.1][4.5.2][表4.5.1～2] <table><tr><th>種類、仕上りの形状、工法</th><th>種 類</th><th>呼 び 名</th><th>仕 上 の 形 状</th></tr><tr><td>・ 薄付け仕上塗材</td><td>・ 外装薄塗材 E ・ 可とう形外装薄塗材 E ・ 防水形外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ ・ ゆず肌状 ・ 凹凸状</td></tr><tr><td>・ 複層仕上塗材</td><td>・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 C E ・ 防水形複層塗材 E</td><td>・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 上塗材 ・ 水系アクリル ・ 水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ・ 行う</td></tr><tr><td>○可とう形改修用仕上塗材</td><td>※可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 R E</td><td>・ 平たん状 ・ さざ波状 ※ゆず肌状 上塗材 ・ アクリル ・ ウレタン ※シリコン ・ ふっ素 外観 ・ 吹付 ※ローラー 仕上 ※薄付け ・ 厚付け</td></tr></table>	種類、仕上りの形状、工法	種 類	呼 び 名	仕 上 の 形 状	・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E ・ 可とう形外装薄塗材 E ・ 防水形外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ ・ ゆず肌状 ・ 凹凸状	・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 C E ・ 防水形複層塗材 E	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 上塗材 ・ 水系アクリル ・ 水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ・ 行う	○可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 R E	・ 平たん状 ・ さざ波状 ※ゆず肌状 上塗材 ・ アクリル ・ ウレタン ※シリコン ・ ふっ素 外観 ・ 吹付 ※ローラー 仕上 ※薄付け ・ 厚付け
防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕 上 げ 塗 料 等																																													
樹脂注入工法（・モルタル面 ○躯体コンクリート面）	[4.1.4][4.2.5]																																															
注入工法の種類	ひび割れ幅（mm）	注入口間隔（mm）																																														
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300																																														
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	※50～100																																														
	0.3以上～0.5未満	※100～200																																														
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0未満	※150～250																																														
		※130 ・																																														
種類、仕上りの形状、工法	種 類	呼 び 名	仕 上 の 形 状																																													
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 E ・ 可とう形外装薄塗材 E ・ 防水形外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ ・ ゆず肌状 ・ 凹凸状																																														
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 E ・ 複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 C E ・ 防水形複層塗材 E	・ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 上塗材 ・ 水系アクリル ・ 水系アクリルシリコン 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック 防水形の増塗材 ・ 行う																																														
○可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 R E	・ 平たん状 ・ さざ波状 ※ゆず肌状 上塗材 ・ アクリル ・ ウレタン ※シリコン ・ ふっ素 外観 ・ 吹付 ※ローラー 仕上 ※薄付け ・ 厚付け																																														
4 合成高分子系ルーフィングシート防水		[表3.1.1][3.5.2～3][表3.5.1～2] <table><tr><th>防水改修工法の種類</th><th>施 工 箇 所</th><th>新規防水層の種別（厚さmm）</th><th>仕 上 げ 塗 料 等</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 仕上げ塗料の使用量 ※製造所の仕様による ・ 絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3.5.2] 可塑剤移行防止用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート ・ [3.5.2] 脱気装置 ・ 製造所の指定する製品 ・ ステンレス製 設置数量（ ）箇所 機械固定工法に用いる断熱材 ※次のいずれかによる ・ ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材の1種b、2種b又は3種b 接着工法に用いる断熱材 ※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 ・ ポリエチレンフォーム断熱材 改修用ドレン ※設ける（ ）箇所 ・ 設けない ※製造所の指定する製品 ・ 銅製 ・ 鉛製 施工標識 ※設ける ・ 設けない	防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕 上 げ 塗 料 等					④欠損部改修工法																																					
防水改修工法の種類	施 工 箇 所	新規防水層の種別（厚さmm）	仕 上 げ 塗 料 等																																													

四日市市都市整備部営繕工務課	一級建築士 登録 第 号	四日市市諏訪町 1 番 5 号	工事名			
			市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事			
			日付	図面名	縮尺	図面番号
			令和7年4月	特記仕様書（改修2）	—	A-02 /
			令和7年1月版			

5章 建具 改修 工事	3 アルミニウム製建具	外部に面する建具（フロントサッシは除く） <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>S－4</td><td rowspan="2">A－3</td><td rowspan="2">W－4</td><td rowspan="2">※ 70 ・ 100</td><td rowspan="2">※図示</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>S－5</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>S－6</td><td>A－4</td><td>W－5</td><td>・ 70 ・ 100 ・</td><td></td></tr></table> 表面処理 ※BB-1種 ・BB-2種(※ﾌﾞﾛｽﾞ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶｰ) [5. 2. 4] [表5. 2. 2] 内部建具 [5. 2. 4] [表5. 2. 2] 表面処理 ※AC-1又はBB-1種 ・AC-2又はBB-2種(※ﾌﾞﾛｽﾞ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶｰ) [5. 2. 3] 防虫網 網の種類 ※ステンレス (SUS316) 製 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 形 式 ※可動式 ・固定式 外部に面する建具（フロントサッシは製造所の仕様による） [5. 3. 2] [表5. 3. 1] <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>S－4</td><td rowspan="3">A－4</td><td>W－4</td><td>・ 70</td><td rowspan="3">※図示</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>S－5</td><td>W－5</td><td>・ 100</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>S－6</td><td></td><td>・</td></tr></table> ・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-A種 ・T-B種 [5. 3. 2] [表5. 3. 2] ・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 [5. 3. 2] [表5. 3. 3]	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	・ A 種	S－4	A－3	W－4	※ 70 ・ 100	※図示	・ B 種	S－5	・ C 種	S－6	A－4	W－5	・ 70 ・ 100 ・		種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	・ A 種	S－4	A－4	W－4	・ 70	※図示	・ B 種	S－5	W－5	・ 100	・ C 種	S－6		・	4 網戸	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5. 4. 2]	品質規格 ※改修標仕表5. 5. 1)による [5. 5. 2] [5. 5. 4]	・製造所標準仕様による	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない	表面仕上げ ※H L 仕上げ ・鏡面仕上げ [5. 6. 2] [5. 6. 4]	曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない	材料の含水率 [5. 7. 2] 表 [5. 7. 1]	<table><tr><th>種 別</th><th>加工及び組み立て時の含水率</th></tr><tr><td>※ A 種</td><td>1 5 %以下</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>1 8 %以下</td></tr></table>	種 別	加工及び組み立て時の含水率	※ A 種	1 5 %以下	・ B 種	1 8 %以下
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																																				
	・ A 種	S－4	A－3	W－4	※ 70 ・ 100	※図示																																																				
	・ B 種	S－5																																																								
	・ C 種	S－6	A－4	W－5	・ 70 ・ 100 ・																																																					
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																																				
	・ A 種	S－4	A－4	W－4	・ 70	※図示																																																				
	・ B 種	S－5		W－5	・ 100																																																					
	・ C 種	S－6			・																																																					
	種 別	加工及び組み立て時の含水率																																																								
	※ A 種	1 5 %以下																																																								
	・ B 種	1 8 %以下																																																								
	5 樹脂製建具	外部に面する建具（フロントサッシは製造所の仕様による） [5. 3. 2] [表5. 3. 1]	<table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・ A 種</td><td>S－4</td><td rowspan="3">A－4</td><td>W－4</td><td>・ 70</td><td rowspan="3">※図示</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>S－5</td><td>W－5</td><td>・ 100</td></tr><tr><td>・ C 種</td><td>S－6</td><td></td><td>・</td></tr></table>	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	・ A 種	S－4	A－4	W－4	・ 70	※図示	・ B 種	S－5	W－5	・ 100	・ C 種	S－6		・	・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-A種 ・T-B種 [5. 3. 2] [表5. 3. 2]	・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 [5. 3. 2] [表5. 3. 3]																																	
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																																																				
	・ A 種	S－4	A－4	W－4	・ 70	※図示																																																				
	・ B 種	S－5		W－5	・ 100																																																					
	・ C 種	S－6			・																																																					
	6 鋼製建具	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5. 4. 2]	品質規格 ※改修標仕表5. 5. 1)による [5. 5. 2] [5. 5. 4]	・製造所標準仕様による	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない	表面仕上げ ※H L 仕上げ ・鏡面仕上げ [5. 6. 2] [5. 6. 4]	曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない	材料の含水率 [5. 7. 2] 表 [5. 7. 1]	<table><tr><th>種 別</th><th>加工及び組み立て時の含水率</th></tr><tr><td>※ A 種</td><td>1 5 %以下</td></tr><tr><td>・ B 種</td><td>1 8 %以下</td></tr></table>	種 別	加工及び組み立て時の含水率	※ A 種	1 5 %以下	・ B 種	1 8 %以下																																										
種 別	加工及び組み立て時の含水率																																																									
※ A 種	1 5 %以下																																																									
・ B 種	1 8 %以下																																																									
⑦ 鋼製軽量建具	マスターキー ・製作する ○製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5. 8. 4]	モノロック ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー箱錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー本締り錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	ドアクローザー	ダイハツディーゼル機器（大島機工、ニッカナ）	日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ	フロアヒンジ	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	ヒンジクローザー	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	リョービ、デンセイオートテック	押板、取手	樹建工業、ユニオン																																												
8 ステンレス製建具	マスターキー ・製作する ○製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5. 8. 4]	モノロック ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー箱錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー本締り錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	ドアクローザー	ダイハツディーゼル機器（大島機工、ニッカナ）	日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ	フロアヒンジ	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	ヒンジクローザー	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	リョービ、デンセイオートテック	押板、取手	樹建工業、ユニオン																																												
9 木製建具	マスターキー ・製作する ○製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5. 8. 4]	モノロック ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー箱錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー本締り錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	ドアクローザー	ダイハツディーゼル機器（大島機工、ニッカナ）	日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ	フロアヒンジ	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	ヒンジクローザー	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	リョービ、デンセイオートテック	押板、取手	樹建工業、ユニオン																																												
⑩ 建具用金物	マスターキー ・製作する ○製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5. 8. 4]	モノロック ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー箱錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	シリンダー本締り錠 ゴール（ ） 美和ロック（ ）	ドアクローザー	ダイハツディーゼル機器（大島機工、ニッカナ）	日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ	フロアヒンジ	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	ヒンジクローザー	大島機工（ニッカナ、美和ロック）、日本ドアチェック製造	リョービ、デンセイオートテック	押板、取手	樹建工業、ユニオン																																												
11 自動ドア開閉装置	開閉方法 ※引き戸 ・多機能トイレ用引き戸 [5. 9. 2～3] [表5. 9. 1～6]	センサーの種類 ・光線センサー ・熱線センサー ・																																																								
⑫ 自閉式上吊り引戸装置	品質規格 ※改修標仕5. 10. 3)による [5. 10. 3] [表5. 10. 1]	・製造所標準仕様による																																																								
13 重量シャッター	種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター [5. 11. 2] [表5. 11. 1]	・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター	開閉機能 ※上部電動式（手動併用） ・上部手動式 [5. 11. 2]	スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき銅板 ・溶融亜鉛めっき銅板 [5. 11. 3]	形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5. 11. 2]	シャッターケース（防火・防煙以外のもの） ・設ける ・設けない	危害防止機構 ・障害物感知装置（自動閉鎖型）	・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの	耐風圧性能（ ） N/m ² （一般重量・外壁用防火のもの）	開閉形式 ※手動式 ・上部電動式（手動併用） [5. 12. 2] [表5. 12. 1]	スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき銅板 ・	形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5. 12. 4]	耐風圧性能（ ） N/m ²	・オーバーヘッドドア	・リングゲリルシャッター																																											
14 軽量シャッター	種類・厚さ ※ 建具表による [5. 14. 2]	種別（区分は図示による） [5. 14. 2]	※シーリング材（SR-1, シコーン系、9030G） ・ガスケット	品質は、JIS A5759)による	※ガラス飛散防止フィルム 種類（・第2種 ・） 張り面（※内張 ・外張）	性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法）																																																				
15 その他のシャッター	・オーバーヘッドドア	・リングゲリルシャッター																																																								
⑬ ガラス	種類・厚さ ※ 建具表による [5. 14. 2]	種別（区分は図示による） [5. 14. 2]	※シーリング材（SR-1, シコーン系、9030G） ・ガスケット	品質は、JIS A5759)による	※ガラス飛散防止フィルム 種類（・第2種 ・） 張り面（※内張 ・外張）	性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法）																																																				
⑰ ガラスの留め材	・ガスケット																																																									
18 ガラス用フィルム	品質は、JIS A5759)による	※ガラス飛散防止フィルム 種類（・第2種 ・） 張り面（※内張 ・外張）	性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法）																																																							

②既存床の撤去並びに下地補修	ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6. 2. 2]	改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ○図示	合成樹脂塗り床の除去 ※機械的除去工法 ・目荒工法	間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4. 3. 10] [6. 3. 2]	※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補強 ・行う ・行わない)	表面仕上げ 仕上げの程度 ・ﾌﾞﾚｰﾅｰ仕上げ ※ｻﾝﾀﾞｰ仕上げ ・超かんな仕上げ [6. 5. 1]	加工の種類 ※機械加工 ・手加工	・ﾌﾞﾚｰﾅｰ加工 ※ｻﾝﾀﾞｰ加工 ・かんな加工	木材の含水率 ※A 種 ・B 種 [6. 5. 2] [表6. 5. 3]	木材の品質 ※改修標仕6. 5. 2)による ・市販品 [6. 5. 2] [表6. 5. 4]	樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき	造作材 ※杉 ・松 ・ひのき	防腐防蟻処理 ※行わない ・行う(箇所－)	木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。	※9. 0mm未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。	集成材又は単板積層材の材質 [6. 5. 2]	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種	<table><tr><th>品 名</th><th>規格・品質</th><th>芯材の種類</th><th>施 工 箇 所</th></tr><tr><td>・造作用集成材</td><td>※1等 ・2等</td><td>・たも ・なら ・しおじ</td><td></td></tr><tr><td>・化粧ばり造作用集成材</td><td>※1等 ・2等</td><td>・単一針葉樹</td><td></td></tr><tr><td>・化粧ばり構造用集成材</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・造作用単板積層材</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・直交集成材</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	品 名	規格・品質	芯材の種類	施 工 箇 所	・造作用集成材	※1等 ・2等	・たも ・なら ・しおじ		・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・単一針葉樹		・化粧ばり構造用集成材				・造作用単板積層材				・直交集成材				※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6. 5. 3]	※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6. 8. 2] [6. 14. 2]	フローリング及び縁甲板張り床 [表6. 5. 10]	<table><tr><td rowspan="2">下張り用床板</td><td>※無し</td><td rowspan="4">※合板張り</td><td rowspan="2">ホルムアルデヒドの放散量</td><td rowspan="2">※規制対象外 ・</td></tr><tr><td>・有り</td></tr><tr><td rowspan="2">床 板</td><td colspan="2">※単層フローリング(標仕19. 5. 2)による)</td><td rowspan="2">ホルムアルデヒドの放散量</td><td rowspan="2">※規制対象外 ・第三種</td></tr><tr><td colspan="4">・縁甲板</td></tr></table>	下張り用床板	※無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量	※規制対象外 ・	・有り	床 板	※単層フローリング(標仕19. 5. 2)による)		ホルムアルデヒドの放散量	※規制対象外 ・第三種	・縁甲板				野縁等の種類 屋内(※19形 ・25形) 屋外(※25形 ・19形) [6. 6. 2] [表6. 6. 1]	既存の埋込みインサート ・使用する ○使用しない [6. 6. 4]	あと施工アンカーの引抜き試験 ○行う ・行わない	耐震補強 ・行う（図示）	屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示	スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示	<table><tr><th>工 法</th><th>※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所)</th><th></th></tr><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>色 柄</th></tr><tr><td>※発泡層のないもの</td><td>※F S</td><td>・無地 ※マーブル柄</td></tr><tr><td>・発泡層のあるもの</td><td></td><td>※柄物 ・無地</td></tr><tr><td>・</td><td></td><td></td></tr></table>	工 法	※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所)		種 類	JISの記号	色 柄	※発泡層のないもの	※F S	・無地 ※マーブル柄	・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地	・			接着材 ※改修標仕表6. 8. 1)による ・エポキシ樹脂系 [6. 8. 2]	<table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※単層ビニル床タイル</td><td>T T</td><td>※2. 0</td><td></td></tr><tr><td>・複層ビニル床タイル</td><td>F T</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・コンポジションビニル床タイル</td><td>K T</td><td>・</td><td></td></tr></table>	種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考	※単層ビニル床タイル	T T	※2. 0		・複層ビニル床タイル	F T	・		・コンポジションビニル床タイル	K T	・		接着材 ※改修標仕表6. 8. 1)による ・エポキシ樹脂系 [6. 8. 2]	<table><tr><th>種 類</th><th>厚さ (mm)</th><th>性 能</th></tr><tr><td>※単層ビニル床タイル</td><td>※2. 0</td><td>体積抵抗値 1. 0x10⁹ Ω以下又は</td></tr><tr><td>・複層ビニル床タイル</td><td>・</td><td>漏えい抵抗値 1. 0x10¹⁰ Ω以下</td></tr><tr><td>・コンポジションビニル床タイル</td><td>・</td><td></td></tr></table>	種 類	厚さ (mm)	性 能	※単層ビニル床タイル	※2. 0	体積抵抗値 1. 0x10 ⁹ Ω以下又は	・複層ビニル床タイル	・	漏えい抵抗値 1. 0x10 ¹⁰ Ω以下	・コンポジションビニル床タイル	・		⑪ビニル床タイル
品 名	規格・品質	芯材の種類	施 工 箇 所																																																																																																																	
・造作用集成材	※1等 ・2等	・たも ・なら ・しおじ																																																																																																																		
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・単一針葉樹																																																																																																																		
・化粧ばり構造用集成材																																																																																																																				
・造作用単板積層材																																																																																																																				
・直交集成材																																																																																																																				
下張り用床板	※無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放散量	※規制対象外 ・																																																																																																																
	・有り																																																																																																																			
床 板	※単層フローリング(標仕19. 5. 2)による)		ホルムアルデヒドの放散量	※規制対象外 ・第三種																																																																																																																
	・縁甲板																																																																																																																			
工 法	※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所)																																																																																																																			
種 類	JISの記号	色 柄																																																																																																																		
※発泡層のないもの	※F S	・無地 ※マーブル柄																																																																																																																		
・発泡層のあるもの		※柄物 ・無地																																																																																																																		
・																																																																																																																				
種 類	JISの記号	厚さ (mm)	備 考																																																																																																																	
※単層ビニル床タイル	T T	※2. 0																																																																																																																		
・複層ビニル床タイル	F T	・																																																																																																																		
・コンポジションビニル床タイル	K T	・																																																																																																																		
種 類	厚さ (mm)	性 能																																																																																																																		
※単層ビニル床タイル	※2. 0	体積抵抗値 1. 0x10 ⁹ Ω以下又は																																																																																																																		
・複層ビニル床タイル	・	漏えい抵抗値 1. 0x10 ¹⁰ Ω以下																																																																																																																		
・コンポジションビニル床タイル	・																																																																																																																			
12 帯電防止ビニル床タイル																																																																																																																				

③既存壁の撤去並びに下地補修	3 既存壁の撤去並びに下地補修	4 木下地等	5 集成材等	⑥接着剤	7 床板張り	⑧軽量鉄骨天井下地	⑨軽量鉄骨壁下地	⑩ビニル床シート	⑪ビニル床タイル	12 帯電防止ビニル床タイル
----------------	-----------------	--------	--------	------	--------	-----------	----------	----------	----------	----------------

6章内装改修工事	①改修範囲	既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 [6. 1. 3]	※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲	天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲	※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲	天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲	※既存のまま ・図示による範囲
----------	-------	---------------------------------------	----------------------------------	-----------------------------	---	----------------------	-----------------

工事名	市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事		
日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年4月	特記仕様書（改修3）	—	A-03 ----- /

 四日市市都市整備部営繕工務課 | | | | 一級建築士 登録 第 号 | 四日市市諏訪町1番5号 |

13 誘導用及び注意喚起用床材	⑭ ビニル幅木	15 カーベット敷き	⑯ 合成樹脂塗床	17 フローリング張り	18 畳敷き	⑰ セっこうボード その他ボード張り
-----------------	---------	------------	----------	-------------	--------	-----------------------

種 類	寸法 (mm)	施工箇所
・塩化ビニル製	※300×300	
・レジンコンクリート製	・	
・磁器又はせつ器質タイル		

高さ (mm) ※60 ○75 ・100

・織じゅうたん [6. 9. 2～3] [表6. 9. 1～2]

種 別	バイル形状	色柄 等	備 考
・ A 種	・カットバイル	※無地	
・ B 種	・ループバイル	・柄物（標準品）	
・ C 種	・カット、ループバイル併用	・	

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーベット [6. 9. 2～3] [表6. 9. 2]

バイル形状	バイル長 (mm)	工 法	帯電性
・カットバイル	※5～7	※全面接着工法	人体帯電圧
・ループバイル	※4～6	・グリッパー工法	※3 kV以下
・カット、ループバイル併用	・		

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーベット [6. 9. 2～3] [表6. 9. 2]

バイル形状	種類	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	施工箇所
・ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500 ・	※6. 5	
・カットバイル				
・カット、ループ併用				

・下敷き材 種類 ※第二種二号 厚さ 8. 0mm

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6. 10. 3] [表6. 10. 4～8]

・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）
・薄膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）
・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑）

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

○水性型無機系床塗料 [6. 11. 2～7] [表6. 11. 1～4]

種 別	樹 種	工 法	塗 装	
※天然木化粧複合フローリング ・単層フローリング	※なら ・ひのき	※釘止め工法 （・A種・B種・C種） ・接着剤併用釘留め	※塗装品 ・無塗装品	
・モザイクパーケット張り				

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

種別 ・A 種 ・B 種 ・C 種 ※D 種（K T－Ⅲ） [6. 12. 2] [表6. 12. 1]

⑰ セっこうボード
その他ボード張り [6. 13. 2] [表6. 13. 1]

種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25 ・
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25 ・
○けい酸カルシウム板	0. 8FK	無石綿 ※6 ・8 ・
・ロックウール化粧吸音板	DR	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃） ・12 ・） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12（不燃） ・15 ・19 ・）
・セっこうボード	GB-R	※12. 5（不燃） ・9. 5（準不燃）
・不燃積層セっこうボード	GB-NC	9. 5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾝ模様）
・強化セっこうボード	GB-F	・12. 5（不燃） ・15. 0（不燃）
○シージング石こうボード	GB-S	○12. 5（不燃） ○9. 5（準不燃）
○化粧セっこうボード	GB-D	・12. 5（不燃） ○9. 5（準不燃）
・セっこうラスボード	GB-L	・9. 5
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1. 2
・パーティクルボード		
○化粧けい酸カルシウム板	0. 8FK	※6

合板類、繊維板、パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない

 四日市市都市整備部営繕工務課 | | | | 一級建築士 登録 第 号 | 四日市市諏訪町1番5号 |

工事名	市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事		
日付	図面名	縮尺	図面番号
令和7年4月	特記仕様書（改修3）	—	A-03 ----- /

 四日市市都市整備部営繕工務課 | | | | 一級建築士 登録 第 号 | 四日市市諏訪町1番5号 |

8章
耐震改修工事

6 壁の配筋及び補強

※標仕各部配筋参考図 4 節による ・図示

[8. 3. 7]

7 ガス圧接

圧接部の確認試験
※超音波探傷試験 ・引張試験

[8. 3. 8]

8 コンクリートの種類及び強度

コンクリートの種類
※普通コンクリート ・軽量コンクリート

[8. 1. 3]

普通コンクリートの類別
※Ⅰ類 ・Ⅱ類
仕上りの平たんさ種別
・ a 種 ・ b 種 ・ c 種

[8. 1. 3] [表8. 1. 1]
[8. 1. 4] [表8. 1. 5]

普通コンクリートの設計基準強度

[8. 1. 4]

設計基準強度 F_o
※ 21 (N/mm²)

施 工 箇 所

軽量コンクリートの設計基準強度

[8. 1. 3～4] [8. 9. 1～2] [表8. 9. 1]

設計基準強度 F_o
(N/mm²)

気乾単位容積質量
(t/m³)

種 別

施 工 箇 所

※ 21 (N/mm)

※1.9程度

※ 1 種

9 コンクリートの材料

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種
・高炉セメント B 種 適用箇所 ()
・フライッシュセメント B 種 適用箇所 ()
・アルカリシリカ反応による区分 ※ A
・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない

[8. 2. 5] [表8. 2. 3]

10 モルタル及びグラウト材

グラウト材 ※無収縮グラウト材 (圧縮強度 45N/mm²以上)
太平洋プレューロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー540グラウト(BASFボソリス)
ノンシュリンクライトグラウト(A B C 商会) デンカ プレタスコ N TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

[8. 2. 6] [8. 2. 12]

11 無筋コンクリート

柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル
太平洋プレューロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト(BASFボソリス)
ノンシュリンクライトグラウト(A B C 商会) デンカ プレタスコ N TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

[8. 11. 1～3]

12 調合管理強度

構造体強度補正值 (S)
(普通ポルトランドセメント)

[8. 2. 5] [表8. 2. 4]

打 設 期 / 間

補正值 (N/mm²)

備 考

2/25～7/ 7 9/ 7～11/22

3. 0

11/23～2/24

6. 0

7/ 8～9/ 6

6. 0

暑中コンクリート

13 コンクリートの試験

※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。
20m³以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20～50m³の場合は任意の一車より試料を採取し、各 3 個供試体を作成する。
50m³以上は 改修標仕 8. 8. 3 による。

[8. 8. 2～3]

14 型枠

打ち放し仕上りの種別

[8. 1. 4]

種 別

施 工 箇 所

・ A 種

※ B 種

・ C 種

外部に面するコンクリート打ち放し仕上りの打増し ・ 20 ※図示

[8. 7. 8]

15 鉄骨製作工場

・監督職員の承諾する工場
・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場 (下記認定グレード以上)
(・ S ・ H ・ M ・ R ・ J)

[8. 1. 5]

16 鉄骨工作図

施工管理技術者 ・配置する ・配置しない

[8. 1. 6]

※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、
国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による。

[8. 13. 2]

17 溶接管理技術者

・配置する ・配置しない

[8. 15. 2]

18 鋼材

鋼材の材質、規格は下表による。

[8. 2. 8]

材 質

品名又は使用箇所

規 格

※JISの規格品

※JISの規格品

※JISの規格品

9章
環境配慮改修工事

19 高力ボルト

※トルシア形高力ボルト ・ JIS 形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト
径 ()
すべり係数試験 ・実施する ※実施しない
試験方法 ()

[8. 2. 9]
[8. 14. 2]

20 鋼材の材料試験

※JIS規格品については種類の異なるごとに 1 t 未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。

[8. 2. 13]

21 溶接施工

エンドタブの種類 ※鋼製タブ
代替タブを使用する場合は、セラミックスタブとし、以下の書類を提出し、監督職員の承諾を得ること。
・セラミックスタブの使用実績
・AW検定協議会の代替エンドタブ技量認定資格者または日本エンドタブ協会によるエンドタブ施工講習 (溶接技能者・固形タブ・A 級) 修了者の資格証
・鉄骨製作工場における施工実績
エンドタブの切断 ・行う () ・行わない
スカラップ ※改良型スカラップ
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う (9mm 以上) ・行わない
試験箇所数 耐震ブレース ※改修標仕 8. 15. 12 による ・
その他 ※標仕 7. 6. 12 (イ) による ・
・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種類は、下記とする。
・ JIS K 5625 ・ JIS K 5674
・ DP 塗装の場合 JIS K 5552 + JIS K 5551 (2 回)
耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ※行わない

[8. 15. 7]
[8. 15. 12]
[8. 17. 3]

22 溶接部の試験

23 錆止め塗料

24 耐火被覆材

種 別

所要性能及び適用構造部位

・耐火材
吹付け
・乾式吹付けロックウール
・半乾式吹付けロックウール
・湿式ロックウール
・耐火板張り
・ラス張りモルタル塗り
・耐火塗料
適用範囲
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の 3 / 4 以上
※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の 1 / 3 程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ 5 ～ 1 0 mm で最大深さ 1 5 mm 程度の凹部を施す

[8. 18. 2～7]
[8. 21. 3] [8. 22. 3]

25 既存コンクリート面の目荒し

26 あと施工アンカーの材料

・金属拡張アンカー
※接着系アンカー
接着剤の材質及びカプセルの種類 (ガラス管タイプ)
日本デコラックス (株) ケミカルアンカー R、RS タイプ
旭化成ジオテック (株) A R ケミカルセッター S U P E R L L A P
日本ヒルティ (株) H V U - G / E A もしくは同等品以上
接合筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼 (D 1 6 以上 S D 3 4 5)
・全ねじボルト

[8. 2. 4]
[8. 12. 2]

27 あと施工アンカーの施工

28 あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の埋込み配管等の探査
範囲 ・あと施工アンカー施工部分全て ・図示
方法 ・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。
・はつり出しによる
穿孔方法 ・低騒音、低振動工法とする (工法については、監督員の承諾を得ること)

[8. 12. 4]

29 あと施工アンカーの確認試験

30 既存構造体との取り合い

施工確認試験
※全数打音試験を行う。
・引張試験は増設壁又は鉄骨プレス 1 箇所あたり 1 本とし、引張荷重は設計強度の 2 / 3 以上とする。場所については監督職員の指示による。
グラウト材の品質管理
※圧縮強度試験を行う (3 日、28 日、封かん養生)
※コンシステンシー試験を行う。

[8. 12. 5] [8. 12. 7]
[8. 21. 9] [8. 22. 7]

①一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針 (建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にはく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針) を遵守すること。
○アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。
石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
○石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
○事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。
○アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
○アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。
アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ○行わない
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ○行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ ○行う ・行わない
施工箇所及び工法 ※図示
分析による確認 ・行う (下表による) ○行わない
材 料 名

調査方法

1材料あたりの試料数

※定性分析 (3 ・)

※定量分析 (※3 ・)

※定性分析 (3 ・)

※定量分析 (※3 ・)

※定性分析 (3 ・)

※定量分析 (※3 ・)

②アスベスト含有建材の処理工事

③アスベストの含有調査

④アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付け材の有無 ・有 ○無
除去吹付け材 () 含有場所 ()
吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う
アスベスト粉じん濃度測定 ※行う
表9. 1. 1 アスベスト粉じん濃度測定
測定時期

測定名称

測 定 場 所

測 定 点 (各施工箇所ごと)

備考

測定 1

処理作業室内

各 2 点又は 3 点

(注) 1

測定 2

施行区画周辺又は、敷地境界

計 2 点

大気

測定 3

処理作業室内

各 2 点又は 3 点

(注) 1

測定 4

セキュリティゾーン入口

1 点

空気の流れを確認

測定 5

集じん・排気装置の排出口
(処理作業室外の場合)

1 点

(注) 2

測定 6

施行区画周辺又は、敷地境界

4 方向各 1 点

—

測定 7

処理作業室内

各 2 点又は 3 点

(注) 1

測定 8

施行区画周辺又は、敷地境界

4 方向各 1 点

大気

(注) 1 . 各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは 2 点、300㎡以下までは 3 点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
(注) 2 . 集じん・排気装置の性能確認
表9. 1. 2 アスベスト粉じん濃度測定方法
計数機器

位相差顕微鏡

メンブレンフィルタの直径

25mm

47mm

試料の吸引流量

1 l / min

5 l / min

10 l / min

試料の吸引時間

5 min

120 min

210 min

試料の透明化

アセトン・トリアセトン法又は、シュウ酸ジエチル法

計数条件

総アスベスト繊維数

200 本又は視野数 50 視野

計数アスベスト

直径 3 μ m 未満、長さ 5 μ m 以上、長さ と直径 比 3 : 1 以上

定量限界

50 f / l

0. 5 f / l

0. 3 f / l

作業場の負圧隔離養生 ※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号
四日市市諏訪町 1 番 5 号

工事名
市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事
日付

図面名

縮尺

図面番号

令和7年4月

特記仕様書 (改修 5)

—

A-05 /

令和7年1月版

9章環境配慮改修工事

⑤

アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)については、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。
アスベスト含有仕上塗材の有無　○有　・無
除去仕上塗材（マフック塗/壁下地調整材/複層塗材）含有場所（
含有場所（床、巾木（市営中央駐車場）/階段室壁（市営中央駐車場）/外壁（市庁舎北館））
撤去の範囲　・全面撤去　○図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
・水洗い工法　○手工具ケレン工法（壁つなぎ部分：集塵装置付）
・集じん装置付高圧水洗工法　○集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
・剥離材併用超音波ケレン工法　○集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
作業場の隔離及び養生
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
○隔離養生不要　○隔離養生必要（負担不要）・その他（
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥

アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　・有　○無
除去保温材（
）含有場所（
）
作業場の隔離　※行う
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑦

アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　○有　・無
除去成形板（ビニル床タイル、けい酸カルシウム板、高分子フリンク防水）含有場所（
図示
）
作業場の養生　・行う　○行わない
※石綿含有ケイカル板第一種の除去は、隔離養生（負担不要）を行う
※その他成形板については、切断・穿孔・研磨等の作業を伴う場合は、隔離養生（負担不要）を行う
処分方法
石綿含有石膏ボード
※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑧

特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）
※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

個人情報取扱いに関する事項

（基本事項）
第1 この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第2 乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）67条に規定する義務を負う。
2 乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第3 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
2 乙は、乙の従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
3 前2項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第4 乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
2 乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
3 管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
4 四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第5 乙及び乙の従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第6 乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
2 乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
3 前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第7 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第8 乙及び乙の従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出ししてはならない。
2 甲及び乙は、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
3 前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びびき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第9 乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。
2 前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
（1）紙媒体　シュレッダーによる裁断
（2）電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破壊
3 乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
4 前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10 乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11 乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12 乙は、甲から個人情報の取扱の状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
2 乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13 甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。

2 甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14 甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

暴力団等不当介入に関する事項

1. 契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第3条又は第4条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。
2. 暴力団等による不当介入を受けたときの義務
（1）不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
（2）契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
（3）（1）（2）の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

障害者差別解消に関する事項

1. 対応要領に沿った対応
（1）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成25年法律第65号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成29年2月28日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（2）（1）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
2. 対応指針に沿った対応
上記1に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第11条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第 号
四日市市諏訪町1番5号

工事名

市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事

日付

令和7年4月

図面名

特記仕様書（改修6）

縮尺

—

図面番号

A-06 /

令和7年1月版

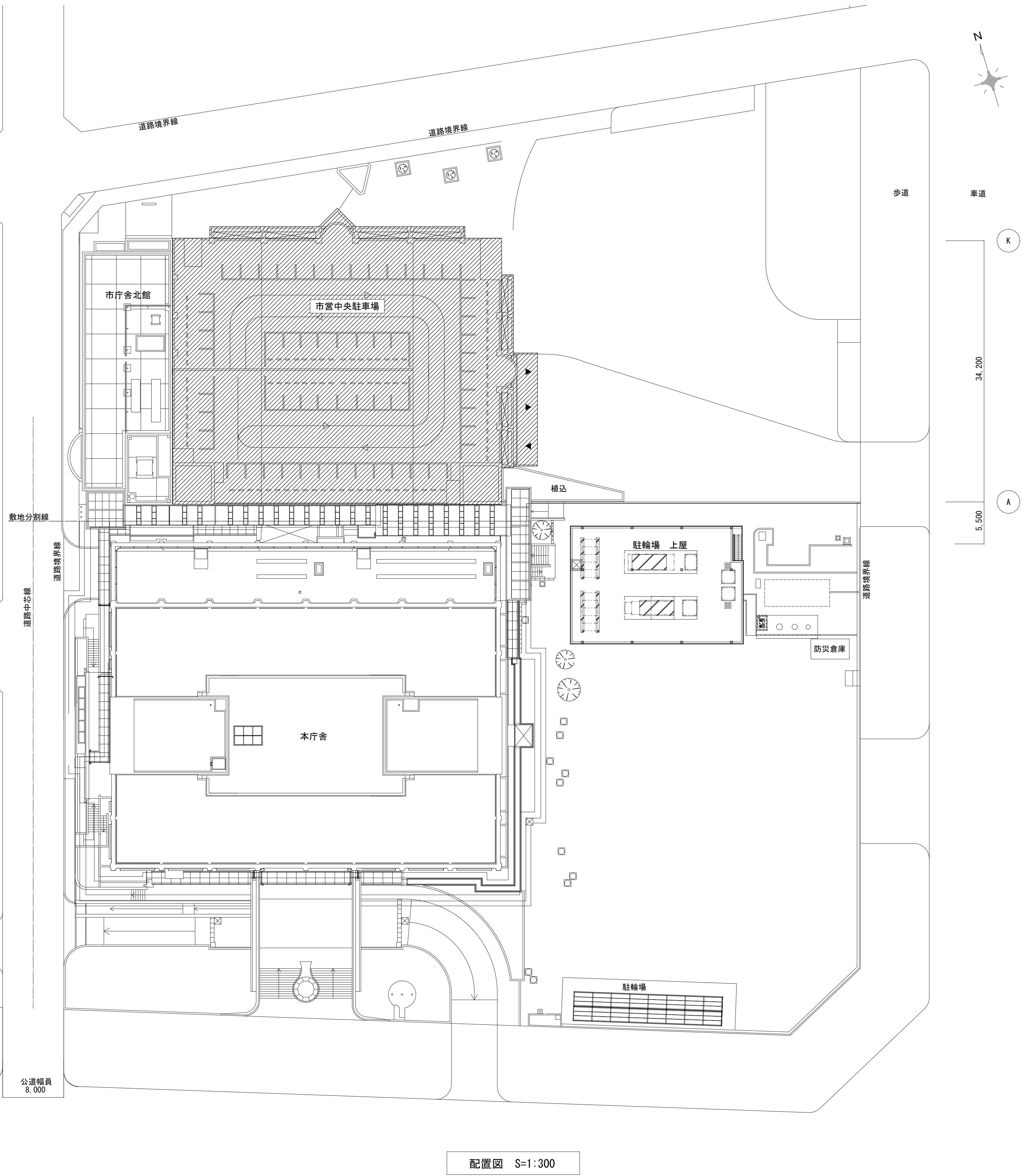


敷地案内図

外部仕上表（改修前）	
屋根	超速硬化ウレタン駐車場床防水工法 塔屋：樹脂モルタル塗り、ウレタン塗膜防水絶縁工法 (X-1)
軒裏	バルコニー：石綿ケイカル板t=6.0※下地 アルミパネルt=1.5電解着色 一部撤去
外壁	ニ丁掛けせり器質タイル張り 一部撤去
	コンクリート打放し撥水剤塗
	コンクリート打放し、吹付タイル※ 丸柱：コンクリート打放し AP塗
玄関庇	屋上一部：樹脂モルタル塗り、ウレタン塗膜防水 (X-2)
	ステンレスt=1.5ウレタン焼付加工
塔屋庇	軒裏：電解着色アルミモールディング張り
	樹脂モルタル塗り、ウレタン塗膜防水 (X-2)
軒裏	軒裏：下地調整 (RB種)の上、NAD塗
	鋼製 FP塗
転落防止柵	鋼製 FP塗
縦樋	VP75 SOP塗 ステンレス摺み金物 継手以外撤去
	VP125 SOP塗 ステンレス摺み金物
サイン	ステンレス製 ウレタン焼付仕上げ
進入口表示	三角マーク撤去
シーリング	伸縮目地：PS-2 20x10 撤去
	建具廻り：SR-2 10x10 撤去

※アスベスト含有建材

外部仕上表（改修後）	
屋根	超速硬化ウレタン駐車場床防水工法（既設のまま） 塔屋：樹脂モルタル塗り、ウレタン塗膜防水絶縁工法 (X-1)（既設のまま）
軒裏	バルコニー：石綿ケイカル板t=6.0下地アルミパネルt=1.5電解着色 下地調整の上、DP塗替え（一部新設）
外壁	ニ丁掛けせり器質タイル張り 水洗い（一部新設）
	コンクリート打放し撥水剤塗 水洗いの上、撥水剤塗替え
	コンクリート打放し、吹付タイル面：下地調整の上、可とう形改修塗材E 塗替え 丸柱：下地調整の上、EP-G塗替え
玄関庇	屋上一部：樹脂モルタル塗り、ウレタン塗膜防水 (X-2)（既設のまま）
	ステンレスt=1.5ウレタン焼付加工 水洗い
塔屋庇	軒裏：電解着色アルミモールディング張り 下地調整の上、DP塗替え
	樹脂モルタル塗り、ウレタン塗膜防水 (X-2)（既設のまま）
軒裏	軒裏：下地調整 (RB種)の上、NAD塗（既設のまま）
	鋼製 FP塗（既設のまま）1階のみ：下地調整の上、DP塗替え
転落防止柵	VP75 φ カラー SUS製摺み金物共新設 継手部清掃の上DP塗装（上塗2回）
	VP125 φ カラー SUS製摺み金物共新設 継手部清掃の上DP塗装（上塗2回）
サイン	ステンレス製 ウレタン焼付仕上げ：水洗い
進入口表示	三角マーク新設
シーリング	伸縮目地：PS-2 20x10 新設
	建具廻り：MS-2 10x10 新設

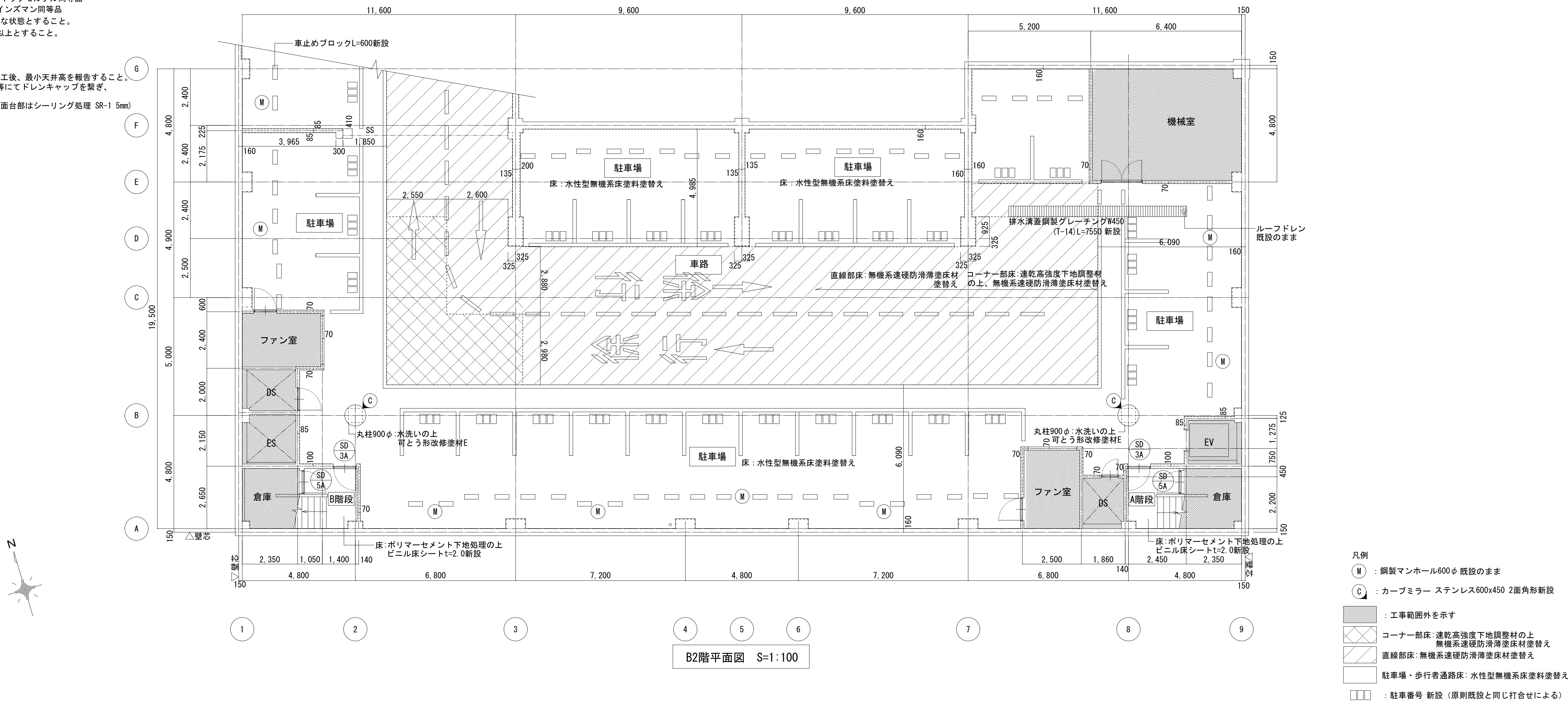


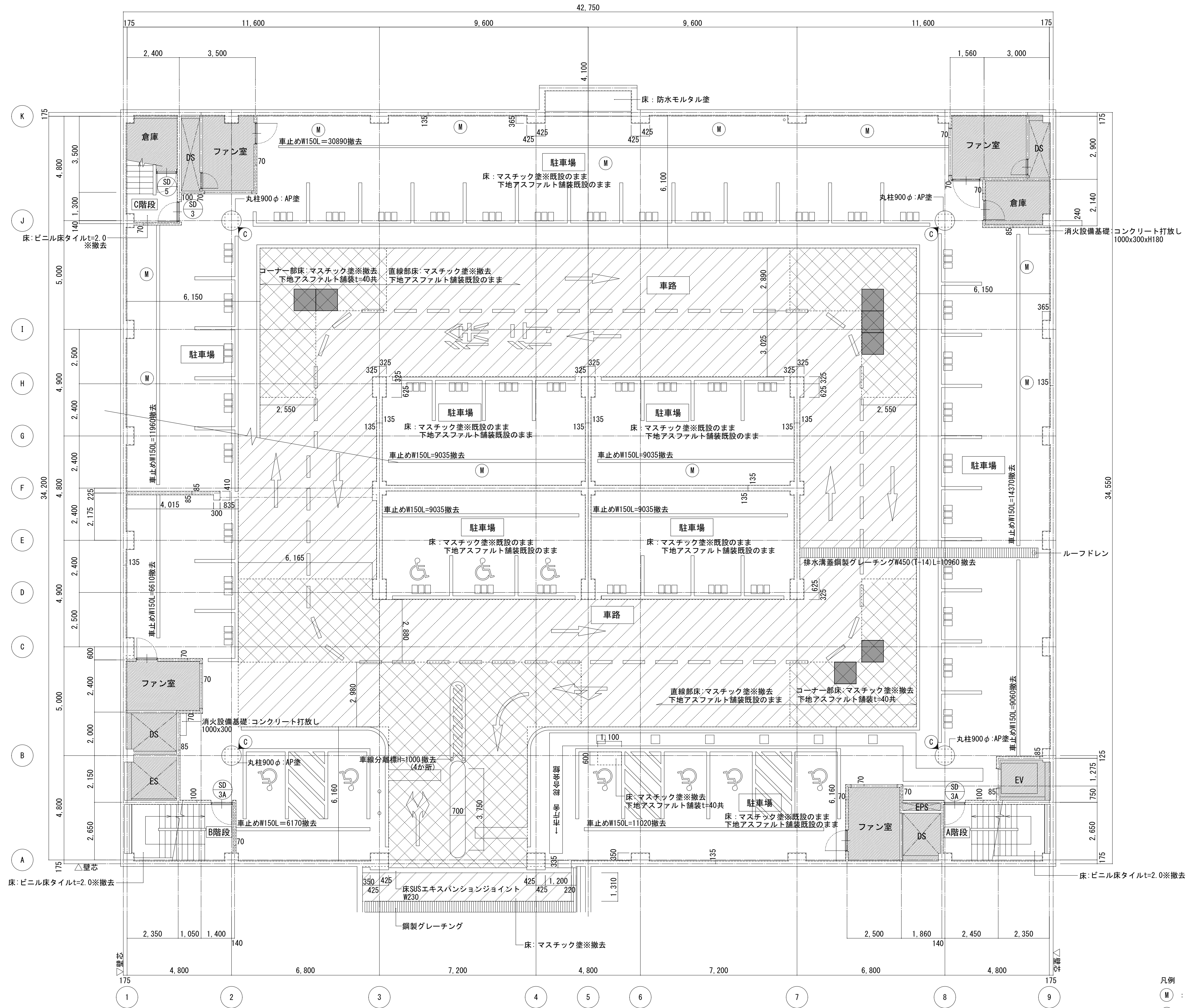
配置図 S=1:300

：改修建物

内部仕上表（改修後）						
階数	室名	床	巾木	壁	天井	備考
共通	駐車場	水性型無機系床塗料塗替え	水性型無機系床塗料H=60塗替え	コンクリート打放し一部吹付タイル※、二丁掛けタイル 既設のまま	パーライト吹付※(梁:コンクリート打放し一部吹付タイル※)既設のまま	排水溝蓋:鋼製グレーチングW450(T-14)、カーブミラー 新設
		下地アスファルト舗装 既設のまま	下地コンクリート 既設のまま	既設のまま	B1階一部:けい酸カルシウム板t=6.0外装薄塗材E 新設(LGS下地共)	車止めブロックL=600新設、硬質床用ライン引き新設
	車路（直線部）	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え（トップコート）	コンクリート打放し 既設のまま	パーライト吹付※ 既設のまま	排水溝蓋:鋼製グレーチングW450(T-14) 新設、硬質床用ライン引き新設
		下地アスファルト舗装 既設のまま（一部速乾高強度下地調整材t=40新設）	下地コンクリート 既設のまま		梁:コンクリート打放し既設のまま	
	車路（コーナー部等）	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え（トップコート）	コンクリート打放し 既設のまま	パーライト吹付※ 既設のまま	硬質床用ライン引き新設
		下地アスファルト舗装 既設のまま（一部速乾高強度下地調整材t=40新設）	下地コンクリート 既設のまま		梁:コンクリート打放し既設のまま	
	階段室A,B,C	ビニル床シートt=2.0新設	清掃の上、可とう形改修塗材E H=60	清掃の上、可とう形改修塗材E (一部清掃の上、NAD塗替え)	清掃の上、EP塗替え	鋼製手摺:下地調整の上、SOP塗替え 樹脂笠木34φアルミ手摺:既設のまま
		ポリマーセメント下地処理				
	バルコニー	ポリマーセメントペースト+ウレタン塗膜防水(X-2)新設	(立上り)ポリマーセメント+ウレタン塗膜防水(X-2)新設	コンクリート打放し一部吹付タイル※ 既設のまま	カラーアルミパネルt=1.5再取付	中継ドレン75φ用新設 竖樋:カラーVP75新設
		下地コンクリート金ごて押え 既設のまま	下地コンクリート 既設のまま		LGS下地 既設のまま	鋼製改修用ドレン75φ用新設 アルミキャップ共
1階	進入路	無機系速硬防滑薄塗床材塗替え	(立上り)コンクリート打放し 既設のまま	二丁掛けタイル 既設のまま	パーライト吹付※ 既設のまま	ゲート用基礎 既設のまま
		速乾高強度下地調整材新設		丸柱φ1050 既設のまま	梁:コンクリート打放し 既設のまま	管理用ブース 既設のまま
	湯沸室	ビニル床タイルt=2.0一部新設	ビニル巾木H=75一部新設	コンクリート下地モルタルVP塗 既設のまま	LGS下地化粧PBTt=9.0 既設のまま	ステンレス流し 新設
		土間コンクリート、モルタル下地 一部新設		LGS下地けい酸カルシウム板t=8.0の上、陶器質タイル100角 既設のまま	梁:コンクリート打放しEP塗 既設のまま	吊戸棚、ステンレス水切棚:既設のまま
	事務室便所	ビニル床シートt=2.0(防汚、防滑)新設	ステンレス巾木H=60新設	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設	けい酸カルシウム板t=6.0EP-G塗 新設	
		土間コンクリート、モルタル下地新設			LGS下地 新設	
	男子便所	磁器質タイル 50角(モルタル下地共)新設	磁器質タイル50角H=50新設	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設	けい酸カルシウム板t=6.0EP-G塗 新設	トイレブース新設
		アスファルト防水下地 既設のまま			LGS下地 新設	
	女子便所	磁器質タイル50角(モルタル下地共)新設	磁器質タイル50角H=50新設	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0EP-G塗 新設	トイレブース新設
		アスファルト防水下地 既設のまま			梁:EP-G塗替え	
R階	多目的便所	ビニル床シートt=2.0(防汚、防滑)新設	ステンレス巾木H=60新設	化粧けい酸カルシウム板t=6.0新設	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0EP-G塗 新設	
		アスファルト防水下地 既設のまま			梁:EP-G塗替え	
	便所前室	水性型無機系床塗料塗替え		二丁掛タイル 既設のまま	LGS下地けい酸カルシウム板t=6.0EP-G塗 新設	
		下地アスファルト舗装 既設のまま		下地コンクリート 既設のまま	梁:EP-G塗替え	
	EVホール	ビニル床シートt=2.0新設	清掃の上、可とう形改修塗材E H=60	清掃の上、可とう形改修塗材E	化粧PBTt=9.5新設	屋上マンホール、タラップ 既設のまま
		モルタル金ごて下地 既設のまま			LGS下地 新設	

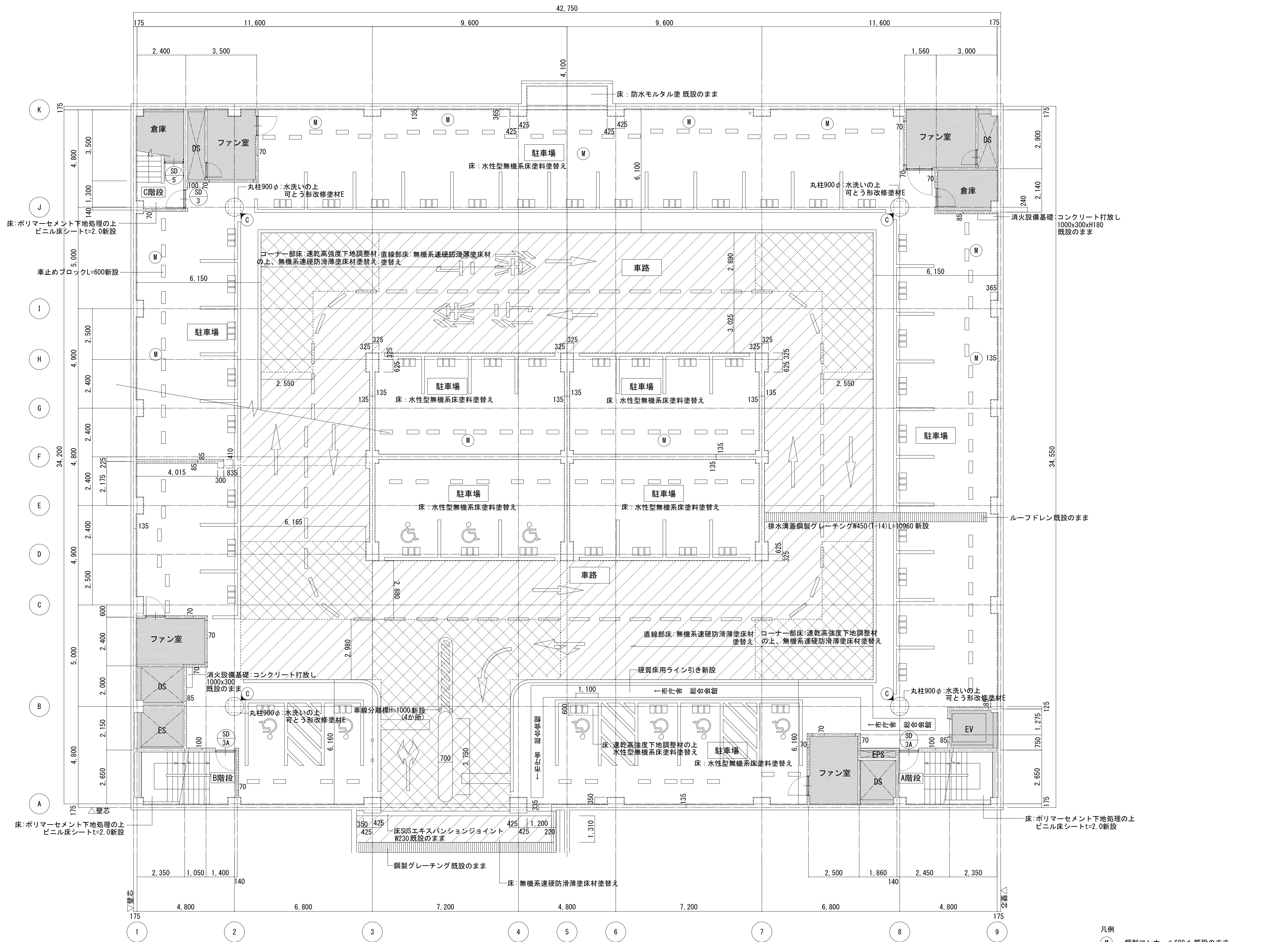
- 水性型無機系床塗料:(株)エービーシー商会 ストリートカラーNS同等品
- 無機系速硬防滑薄塗床材:(株)エービーシー商会 ラバクリートF同等品
- 速乾高強度下地調整材:(株)エービーシー商会 クイックモルタル同等品
- 硬質床用ライン塗料:(株)エービーシー商会 ラインズマン同等品
- 車路床改修は原則土日作業とし、平日に通行可能な状態とすること。
- ビニル床シートt=2.0(防汚、防滑)は下記同等品以上とすること。
 - タキロンマテックス:ネオクリーン
 - ロンシール:サニタリウム
 - 東リ:清臭NSTワレ
- 車路床仕上は原則現況天井高とすることし、施工後、最小天井高を報告すること。
- 新設するドレンキャップについてはSUSワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、落下防止対策を講じること。
- 化粧タイル板のジョイント部は7mmジョイント部は7mmジョイント部は7mmとす。(面台部はシーリング処理 SR-1 5mm)





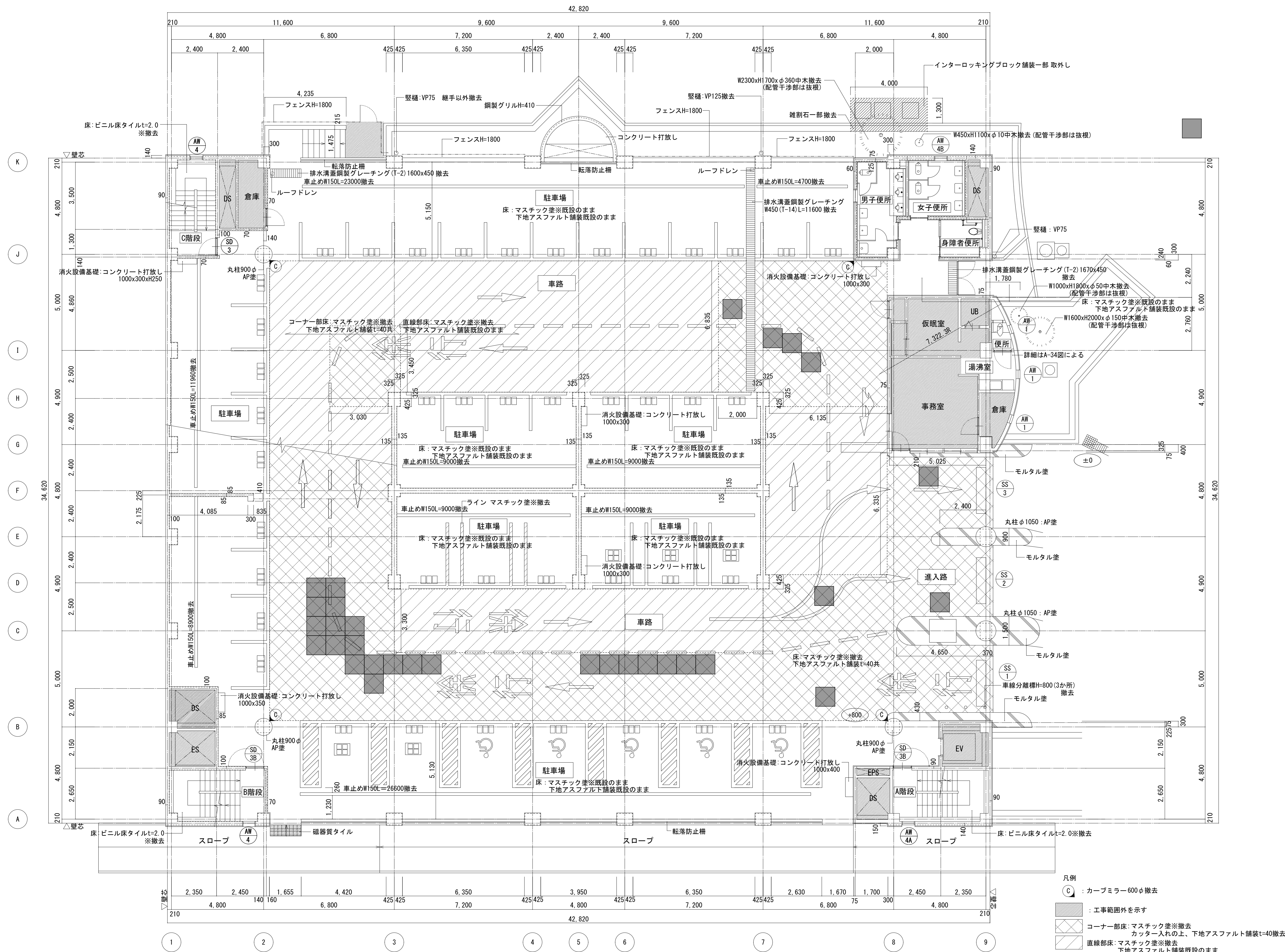
B1階平面図 S=1:100

- 凡例
- (M) : 鋼製マンホール600φ
 - (C) : カーブミラー 600φ撤去
 - [Hatched Box] : 工事範囲外を示す
 - [Cross-hatched Box] : コーナー部床: マスチック塗※撤去
カッター入れの上、下地アスファルト舗装t=40撤去
 - [Diagonal-hatched Box] : 直線部床: マスチック塗※撤去
下地アスファルト舗装既設のまま
 - [White Box] : 駐車場・歩行者通路床: マスチック塗※既設のまま
 - [Dark Grey Box] : マスチック塗仕上なし (現状補修歴あり) (1000×1000/か所)
 - [Light Grey Box] : 駐車番号※撤去
 - ※ : アスベスト含有建材

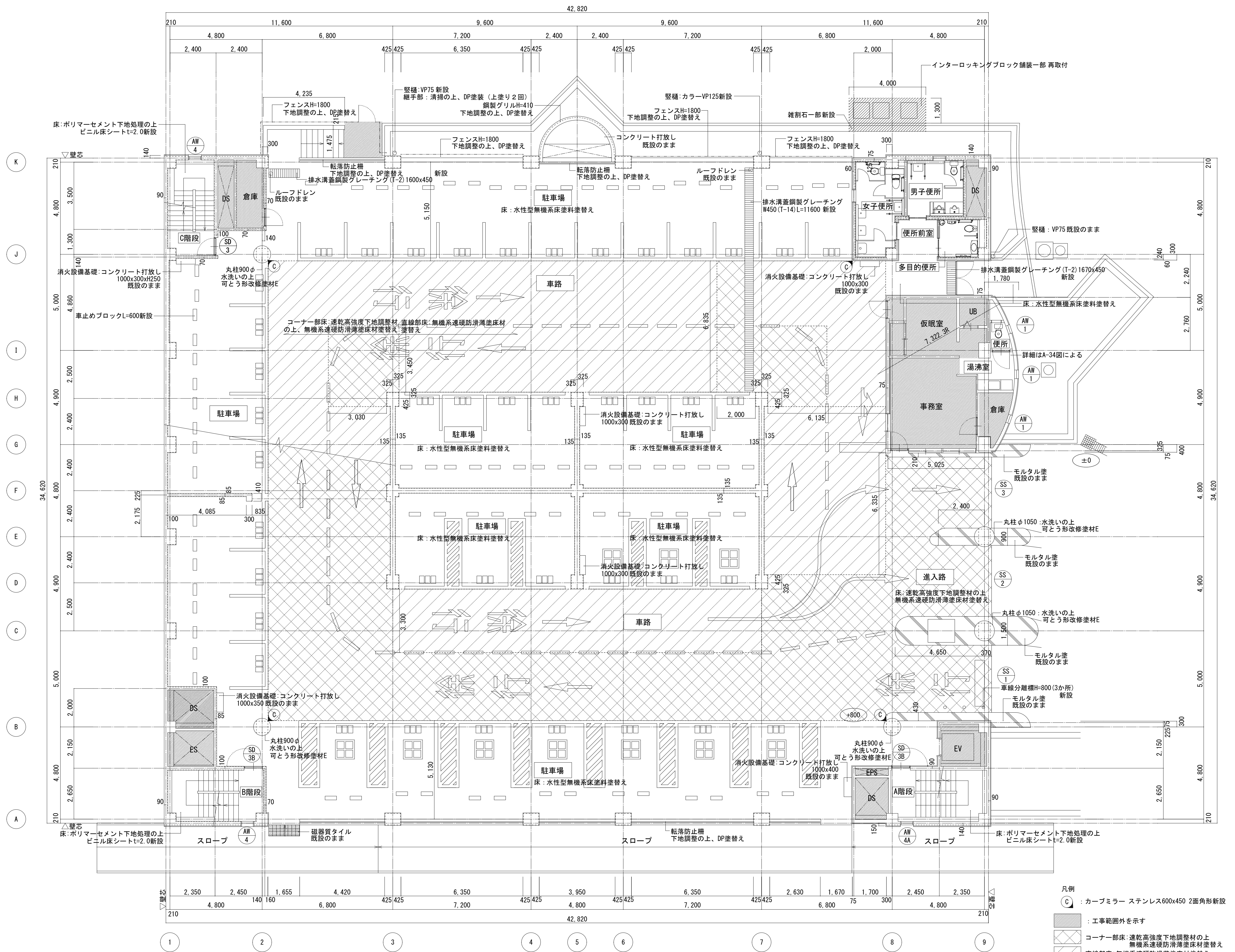


B1階平面図 S=1:100

- 凡例
- (M) : 鋼製マンホール600φ 既設のまま
 - (C) : カープミラー ステンレス600x450 2面角形新設
 - [斜線] : 工事範囲外を示す
 - [点線] : コーナー部床:速乾高強度下地調整材の上、無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - [縦線] : 直線部床:無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - [白] : 駐車場・歩行者通路床:水性型無機系床塗料塗替え
 - [□] : 駐車番号 新設 (原則既設と同じ打合せによる)

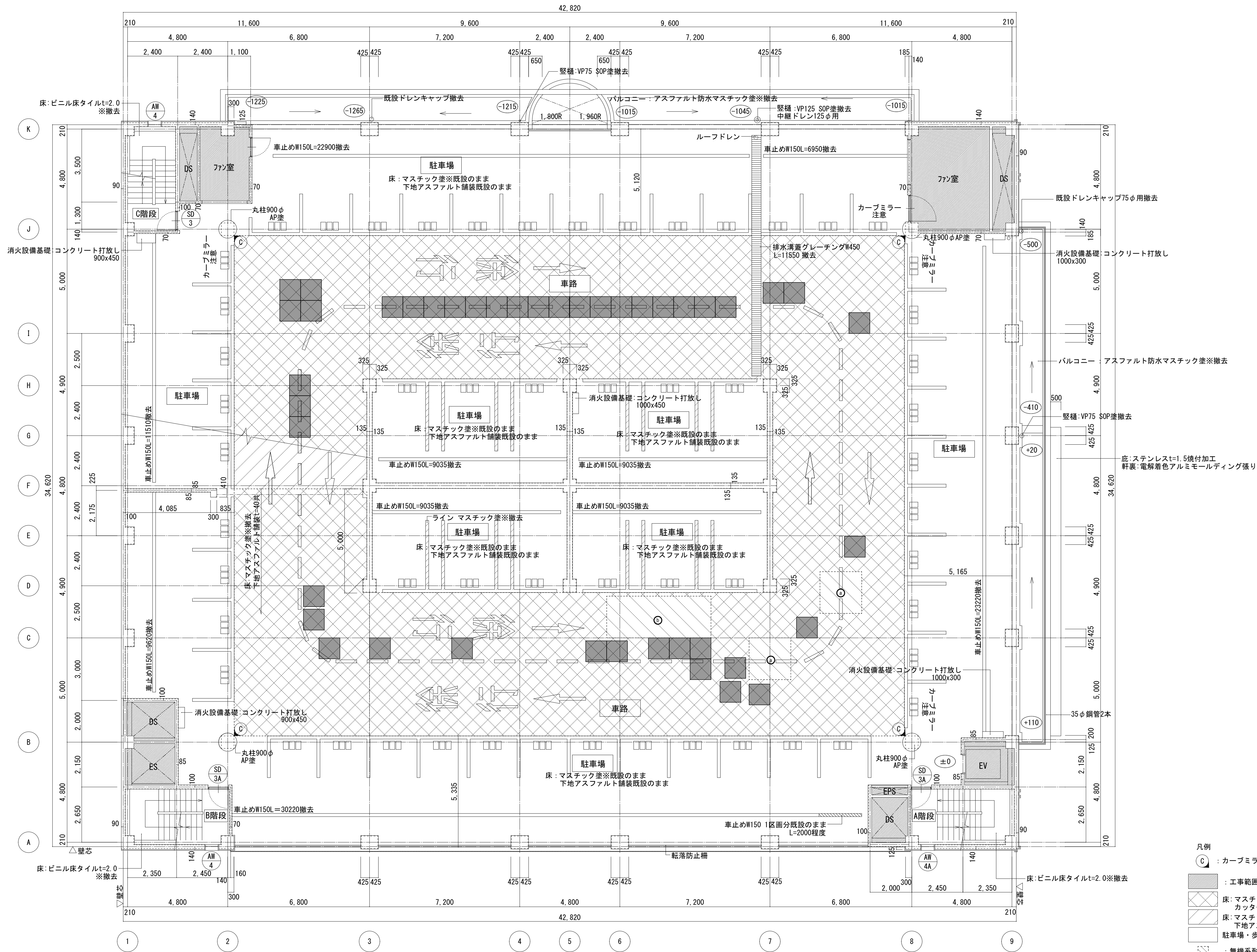


1階平面図 S=1:100



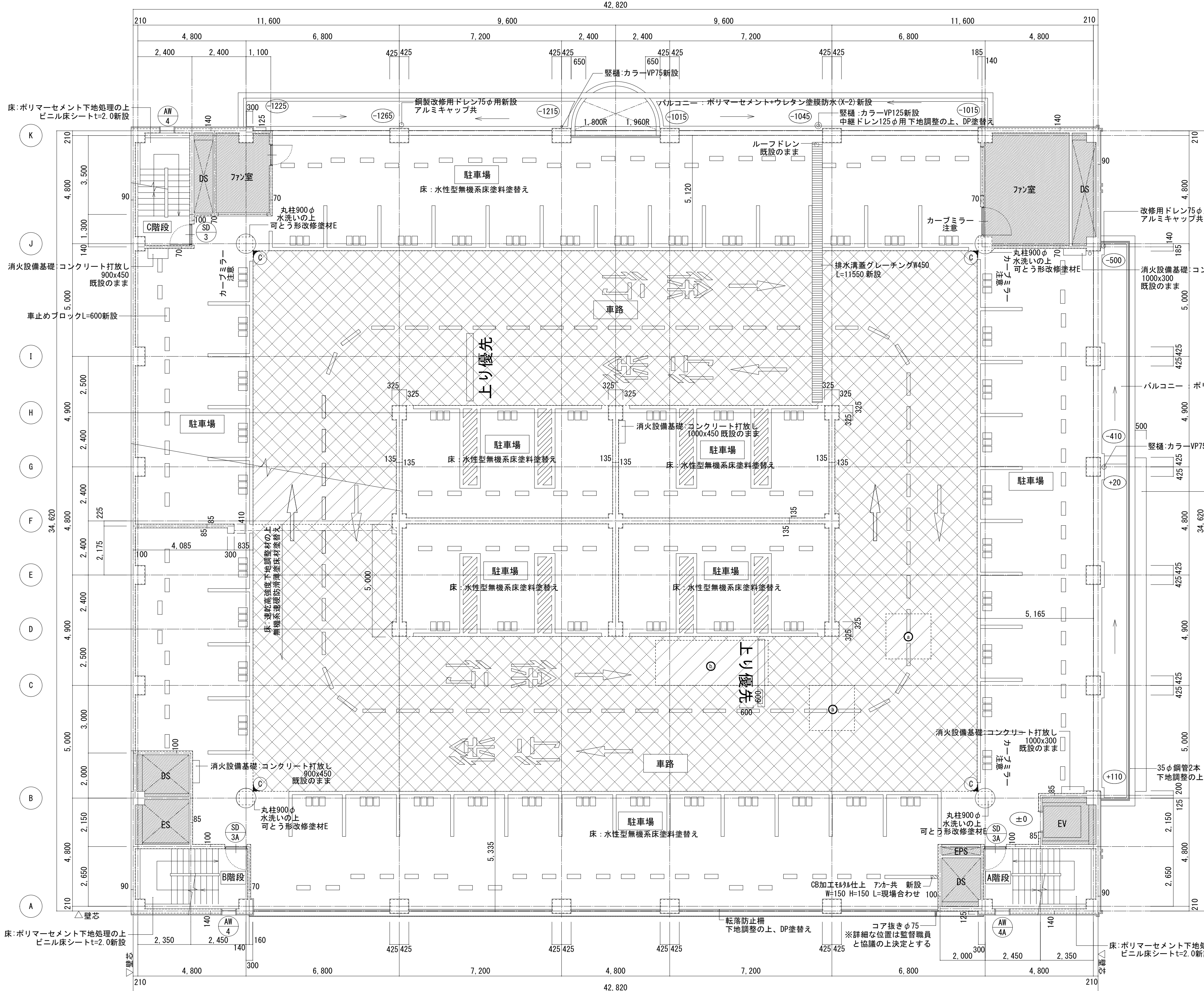
1階平面図 S=1:100

- 凡例
- C : カーブミラー ステンレス600x450 2面角形新設
 - : 工事範囲外を示す
 - (diagonal lines) : コーナー部床:速乾高強度下地調整材の上 無機系速硬防汚塗床材塗替え
 - (horizontal lines) : 直線部床:無機系速硬防汚塗床材塗替え
 - (hatched) : 外構工事範囲
 - (dotted) : 駐車場・歩行者通路床:水性型無機系床塗料塗替え
 - (white) : 駐車番号 新設 (原則既設と同じ打合せによる)



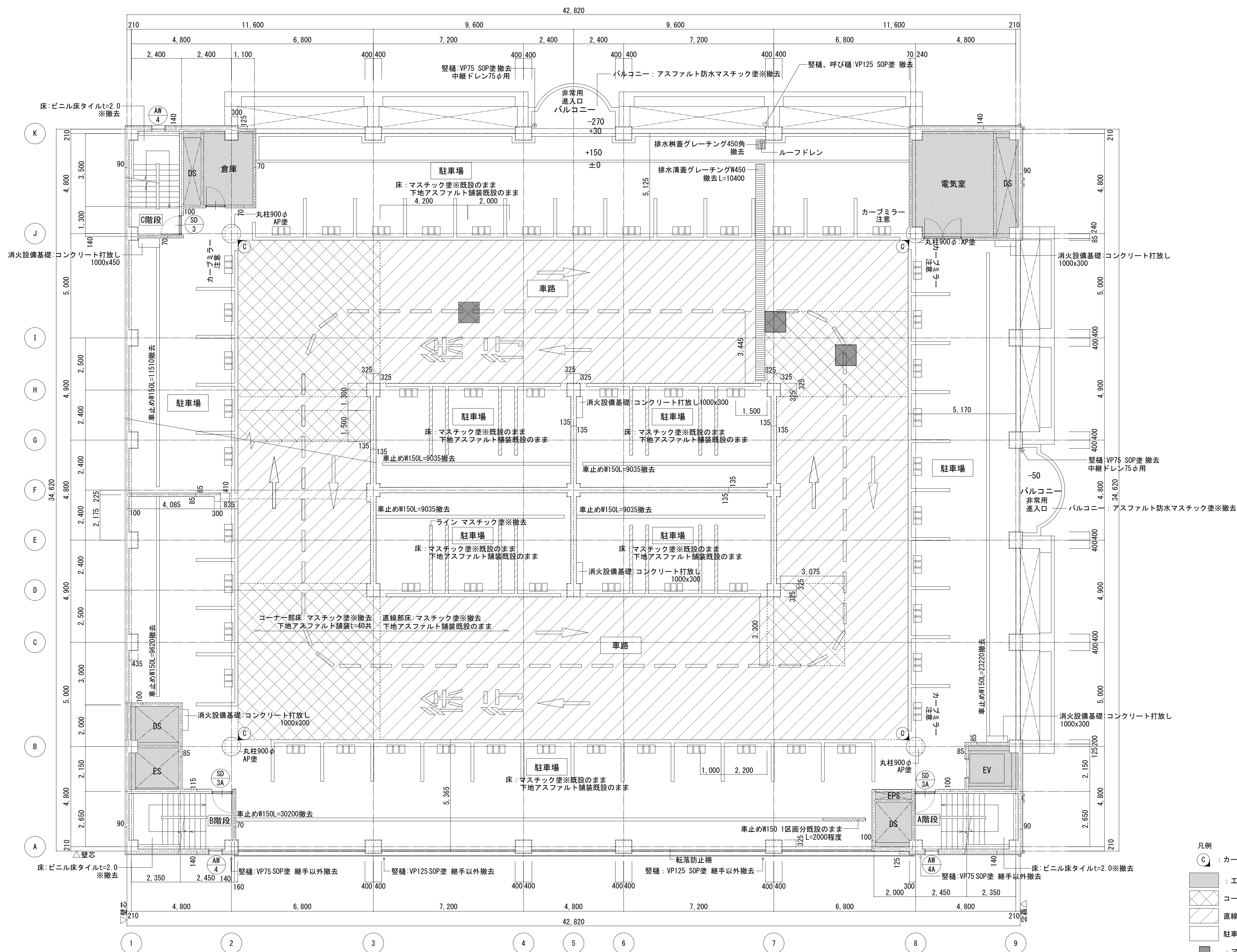
2階平面図 S=1:100

- 凡例
- C : カーブミラー600φ撤去
 - : 工事範囲外を示す
 - 床: マスチック塗※撤去
カッター入れの上、下地アスファルト舗装t=40撤去
 - 床: マスチック塗※撤去
下地アスファルト舗装既設のまま
 - 駐車場・歩行通路床: マスチック塗※既設のまま
 - 無機系耐久床仕上材 (マスチック塗仕上なし) 下地アスファルト舗装 既設のまま
○部 2000×2000 ○部 5000×2000
 - マスチック塗仕上なし (※補修履歴あり) (1000×1000/か所)
 - 駐車場番号※撤去
 - ※ : アスベスト含有建材



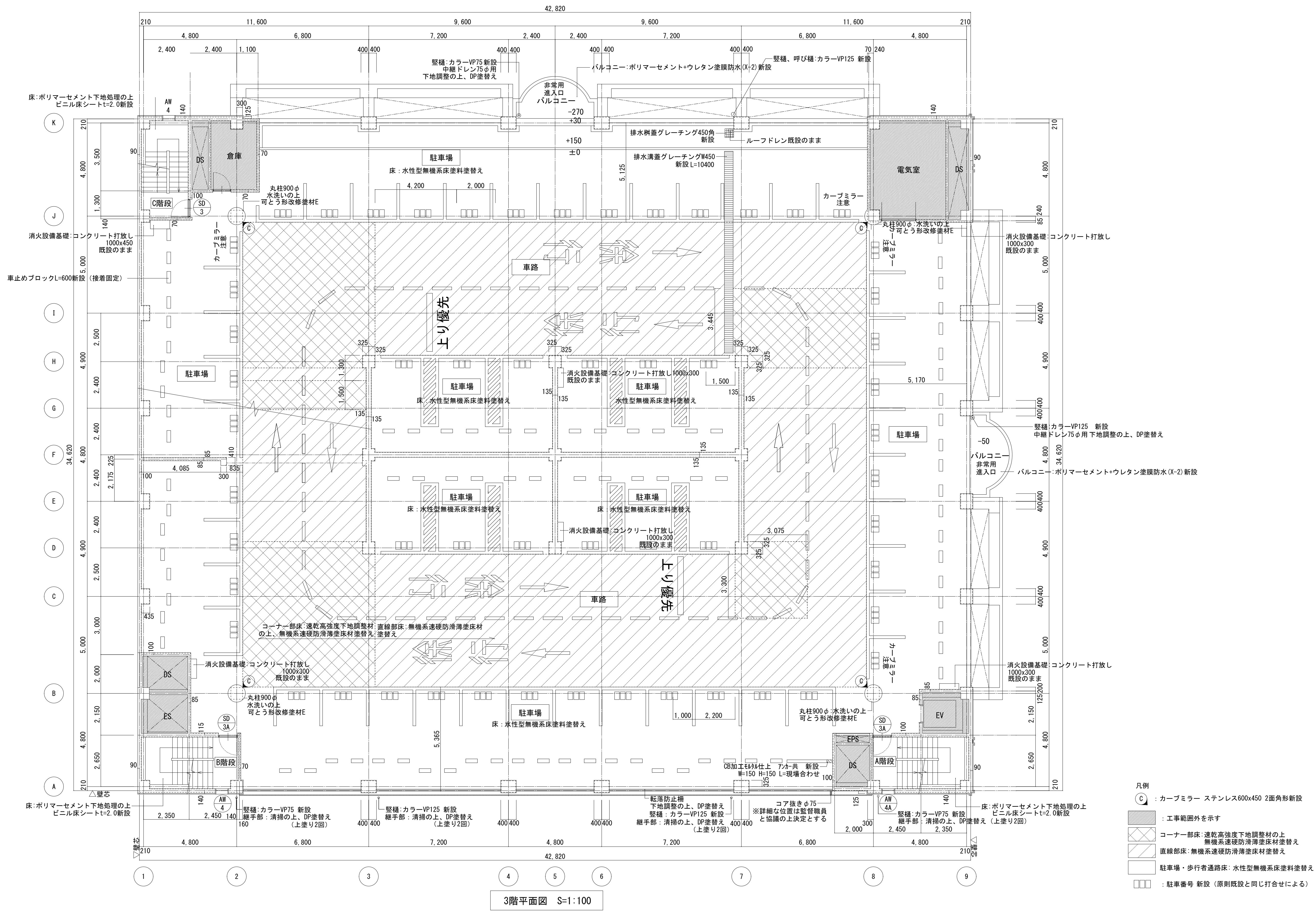
2階平面図 S=1:100

- 凡例
- ⑥ : カーブミラー ステンレス600x450 2面角形新設
 - : 工事範囲外を示す
 - 床: 速乾高強度下地調整材の上 無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - 床: 無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - 部 2000×2000 ◎部 5000×2000
 - 駐車場・歩行者通路床: 水性型無機系床塗料塗替え
 - : 駐車番号 新設 (原則既設と同じ打合せによる)

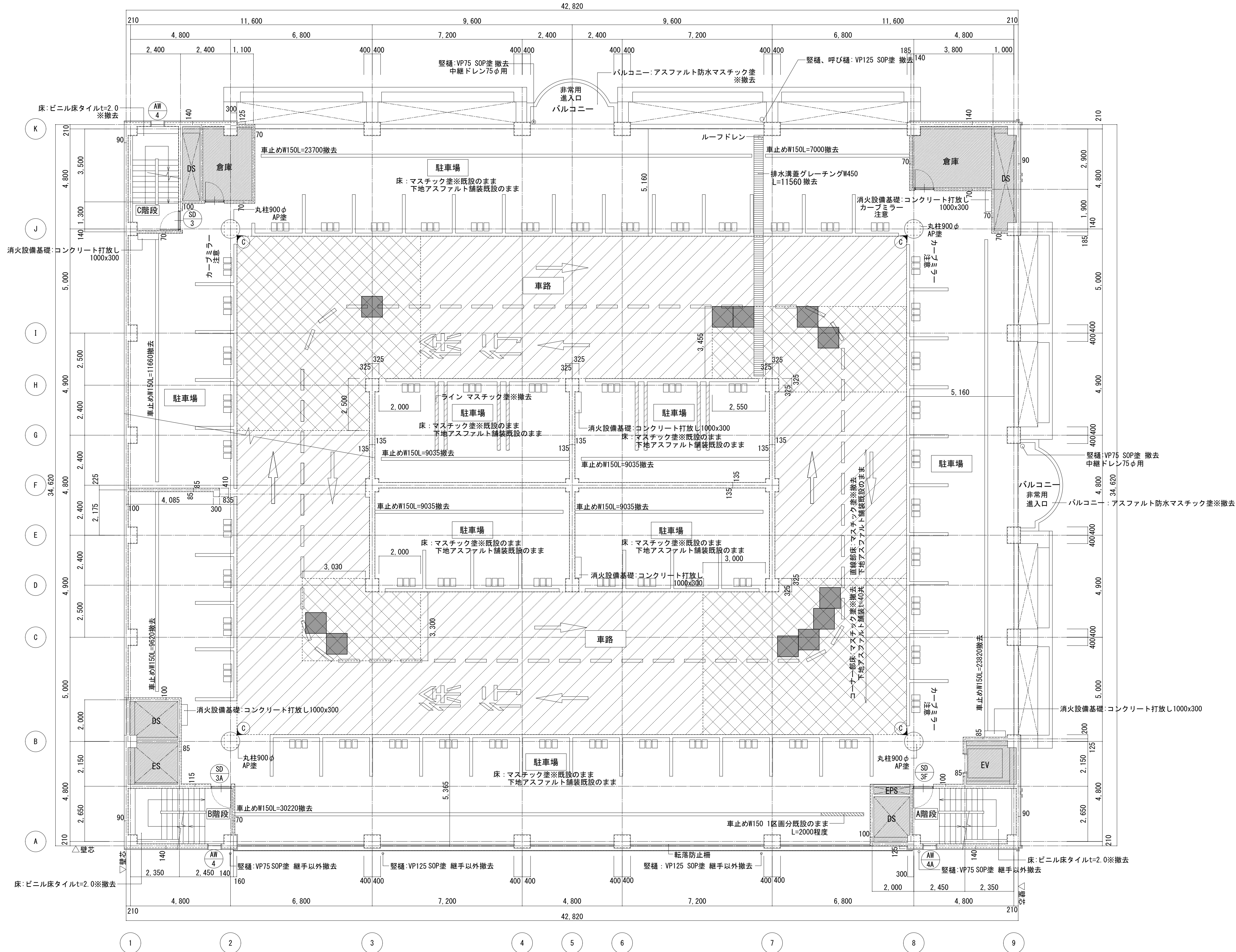


3階平面図 S=1:100

- 凡例
- Ⓒ : カーブミラー 600φ撤去
 - : 工事範囲外を示す
 - (diagonal lines) : コーナー部床: マスチック塗※撤去
カッター入れの上、下地アスファルト舗装t=40撤去
 - (horizontal lines) : 直線部床: マスチック塗※撤去
下地アスファルト舗装既設のまま
 - (white) : 駐車場・歩行者通路床: マスチック塗※既設のまま
 - (dark gray) : マスチック塗仕上なし (材料補修歴あり) (1000×1000/か所)
 - (white with dots) : 駐車番号※撤去
 - ※ : アスベスト含有建材

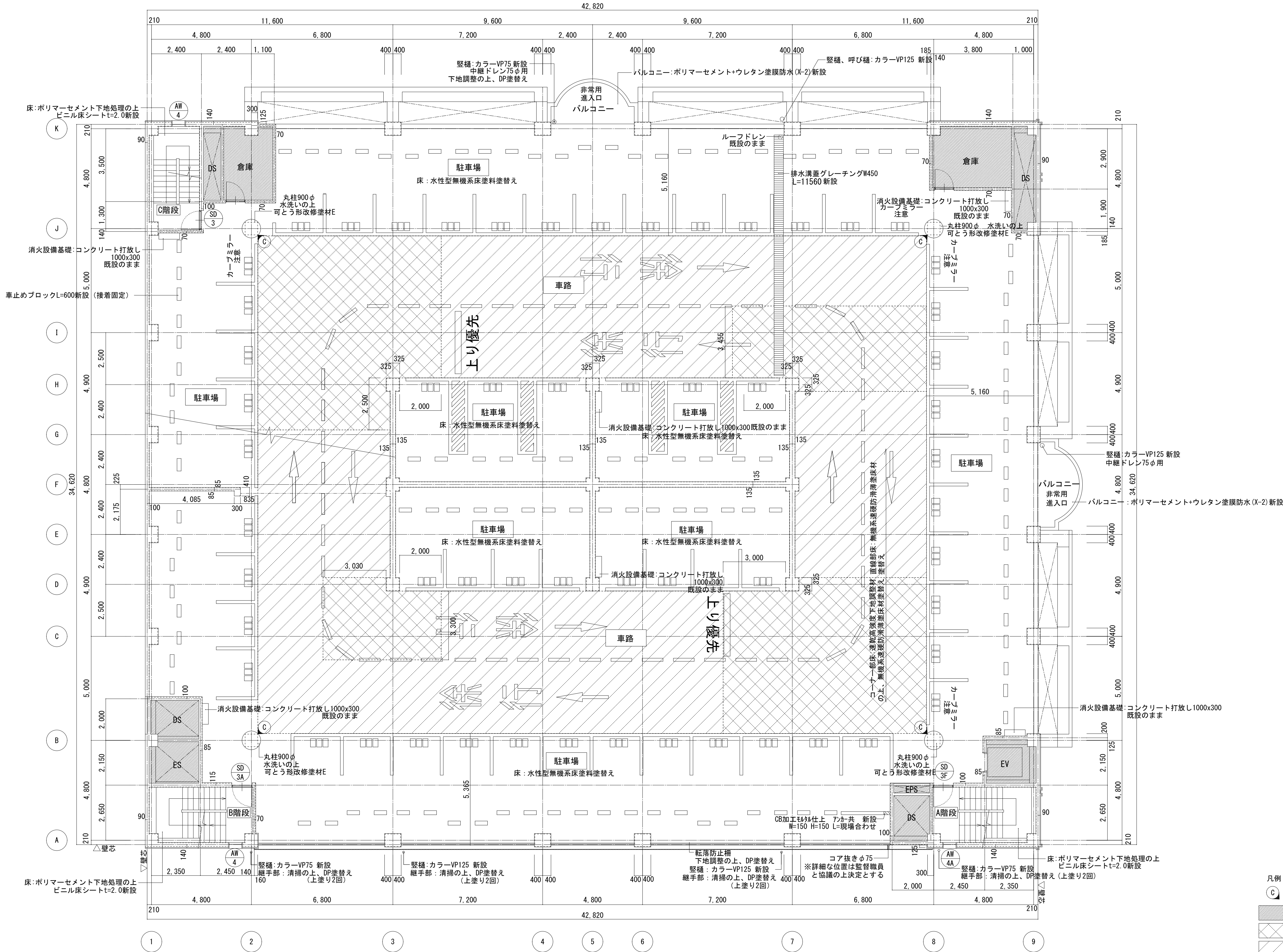
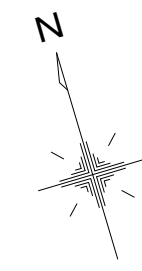


- 凡例
- Ⓒ : カーブミラー ステンレス600x450 2面角形新設
 - : 工事範囲外を示す
 - ▨ : コーナー部床:速乾高強度下地調整材の上、無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - ▧ : 直線部床:無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - : 駐車場・歩行者通路床:水性型無機系床塗料塗替え
 - : 駐車番号 新設 (原則既設と同じ打合せによる)



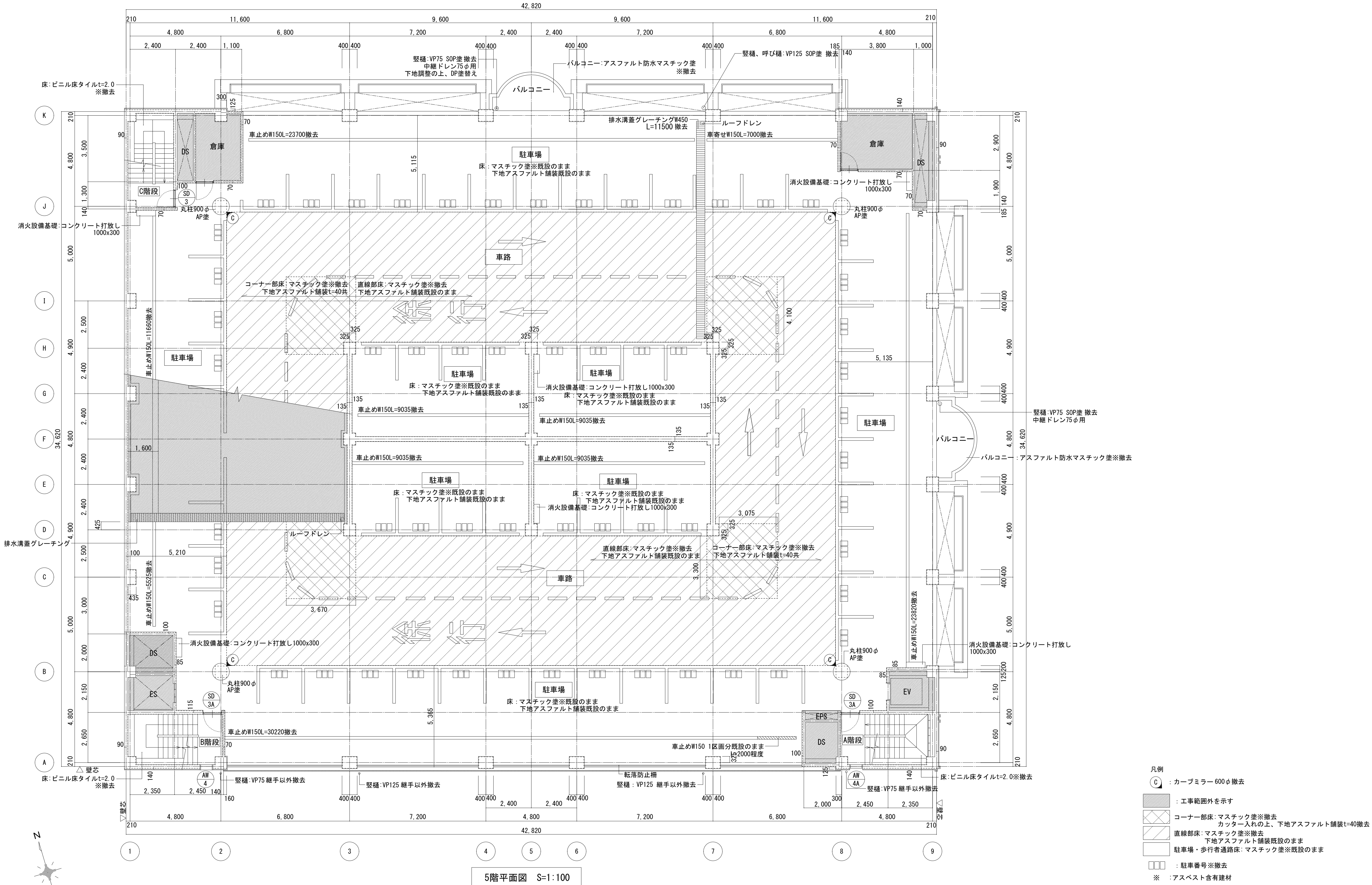
4階平面図 S=1:100

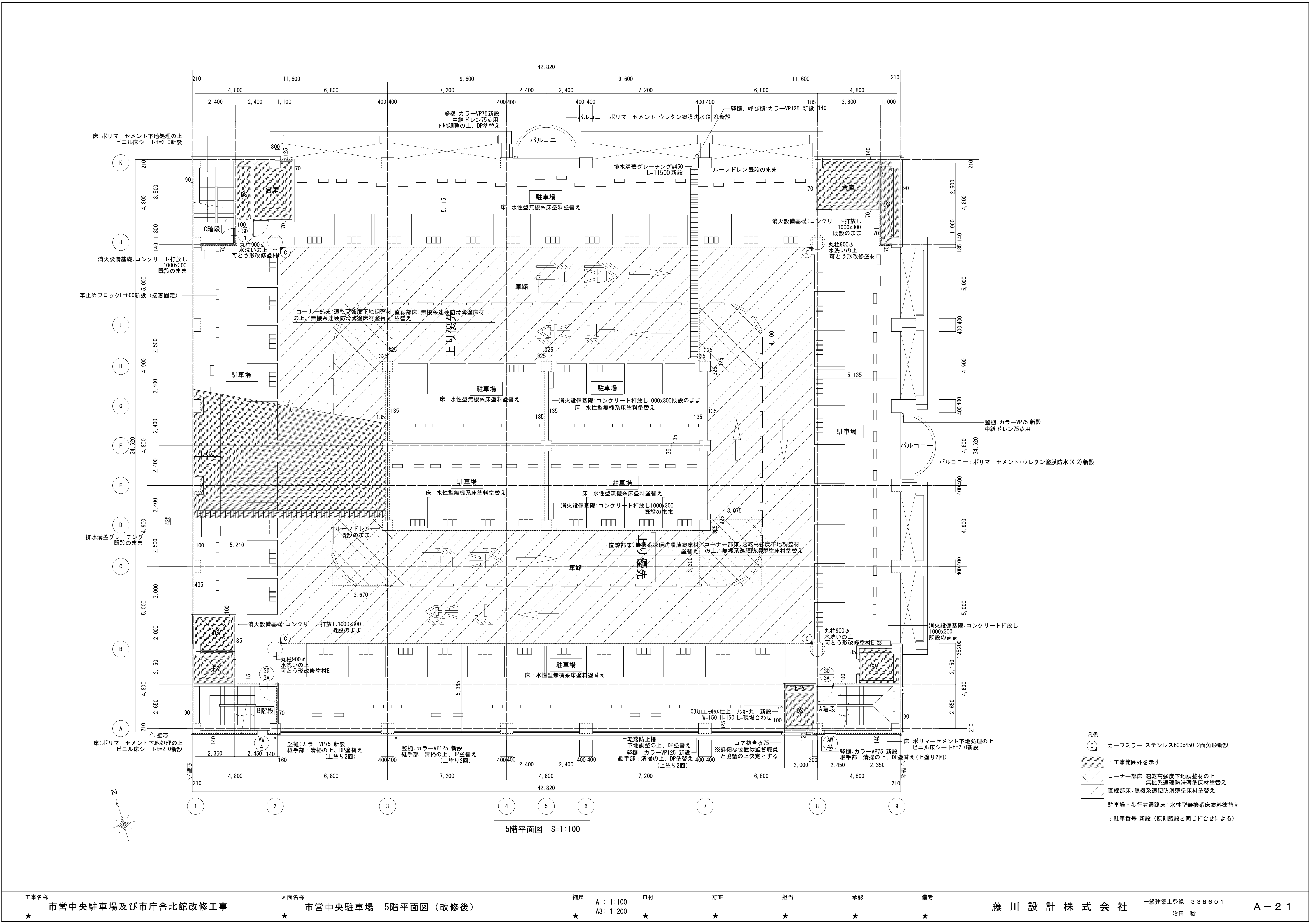
- 凡例
- Ⓒ : カーブミラー 600φ撤去
 - : 工事範囲外を示す
 - (diagonal lines) : コーナー部床: マスチック塗※撤去
カッター入れの上、下地アスファルト舗装t=40撤去
 - (horizontal lines) : 直線部床: マスチック塗※撤去
下地アスファルト舗装既設のまま
 - (white) : 駐車場・歩行者通路床: マスチック塗※既設のまま
 - (dark gray) : マスチック塗仕上なし (もみれ補修歴あり) (1000×1000/か所)
 - (white with dots) : 駐車番号※撤去
 - ※ : アスベスト含有建材

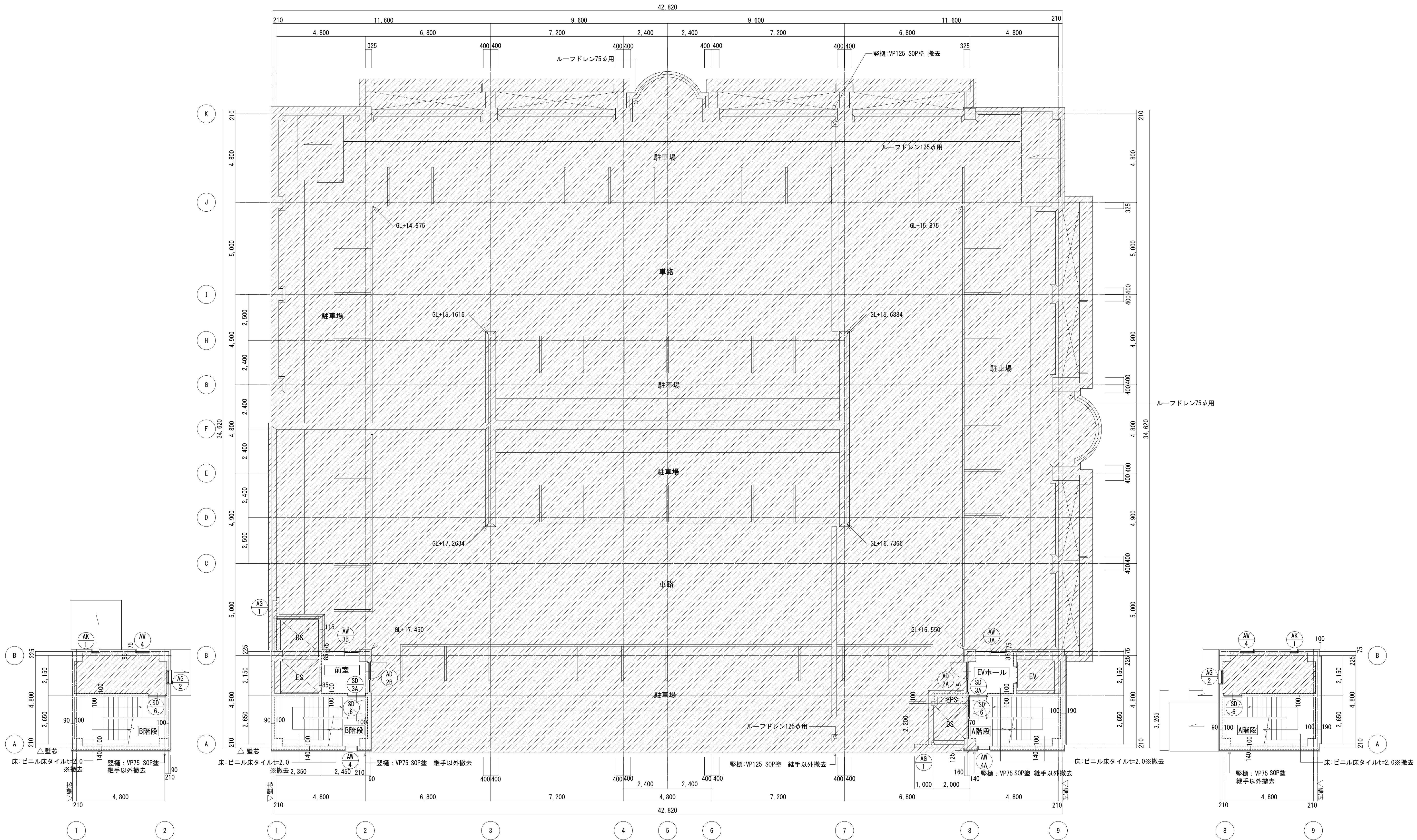


- 凡例
- ① : カーブミラー ステンレス600x450 2面角形新設
 - : 工事範囲外を示す
 - (diagonal lines) : コーナー部床: 速乾高強度下地調整材の上 無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - (horizontal lines) : 直線部床: 無機系速硬防汚滑塗床材塗替え
 - (white) : 駐車場・歩行者通路床: 水性型無機系床塗料塗替え
 - (dotted) : 駐車番号 新設 (原則既設と同じ打合せによる)

4階平面図 S=1:100





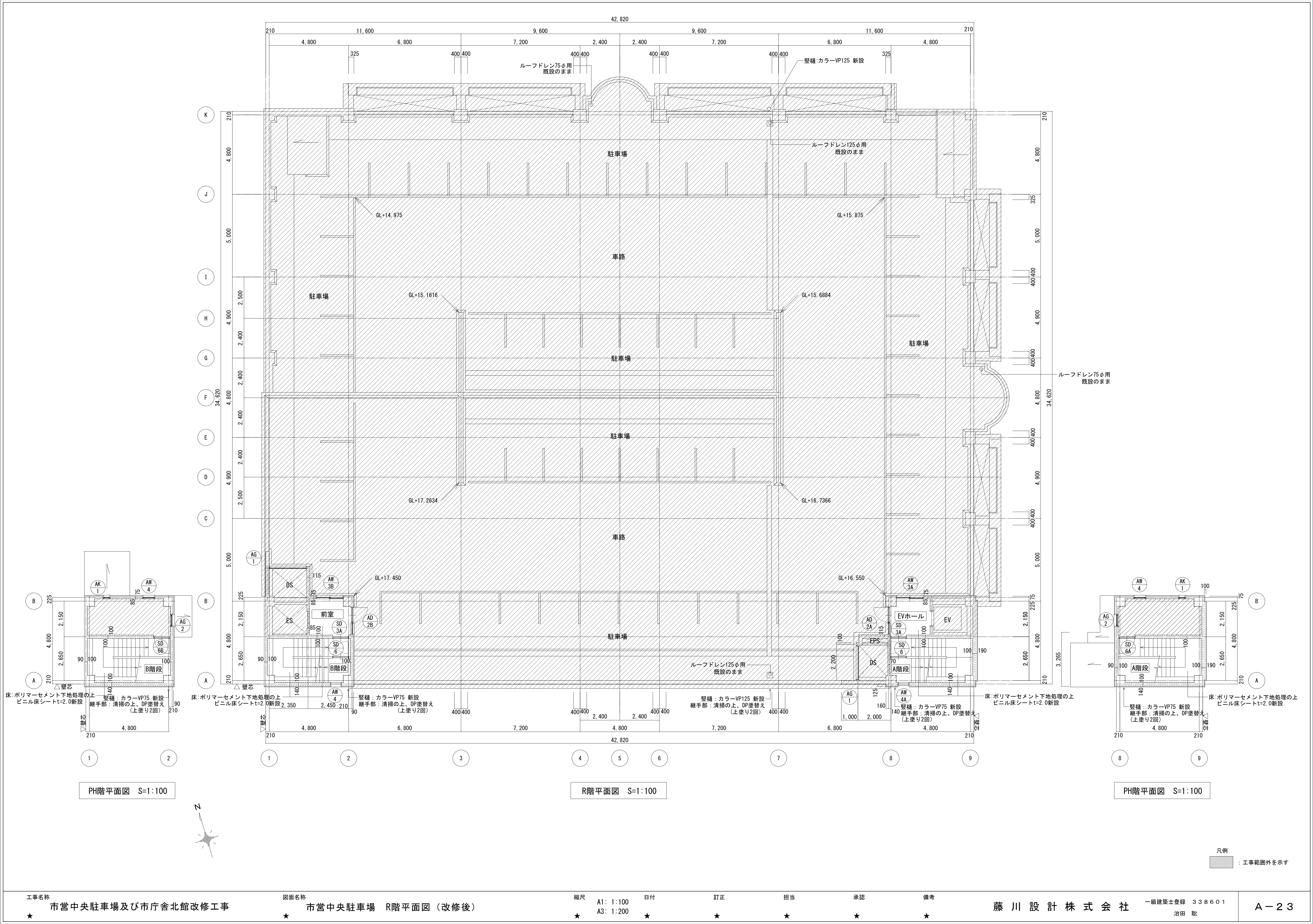


PH階平面図 S=1:100

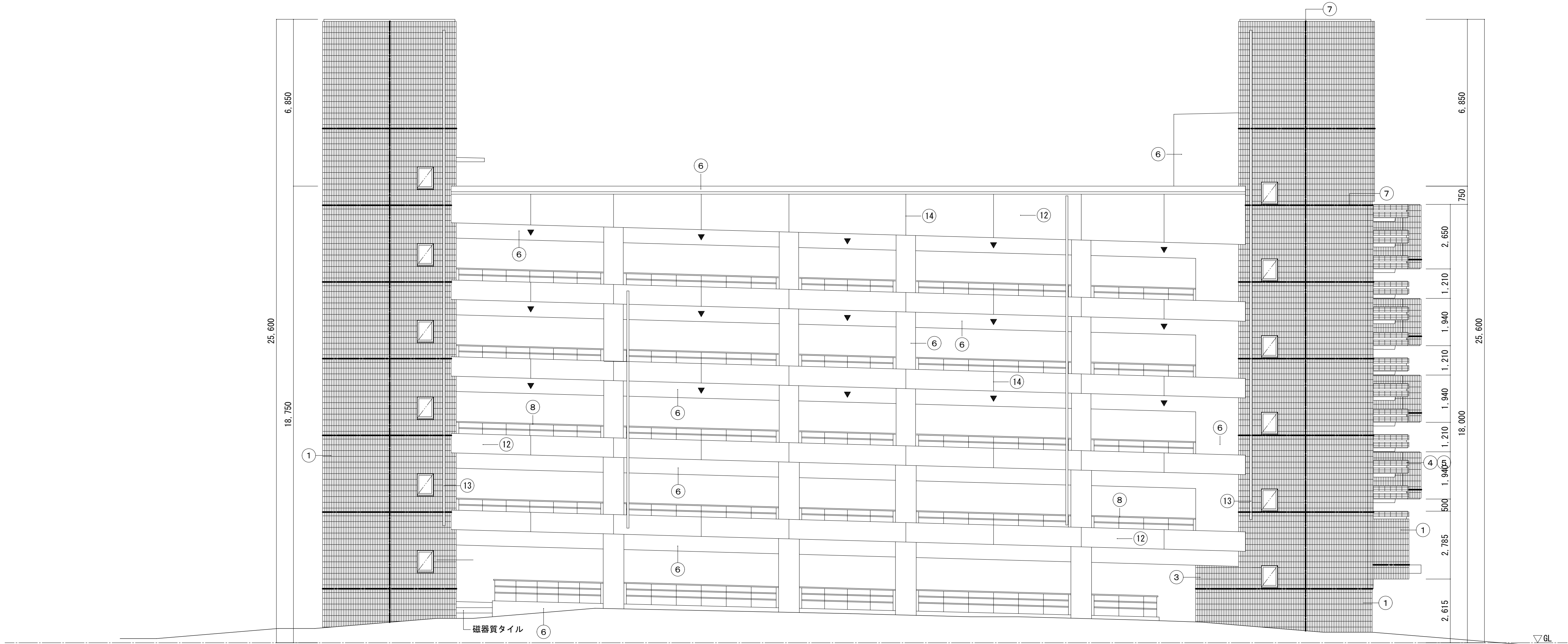
R階平面図 S=1:100

PH階平面図 S=1:100

凡例
: 工事範囲外を示す
※ : アスベスト含有建材

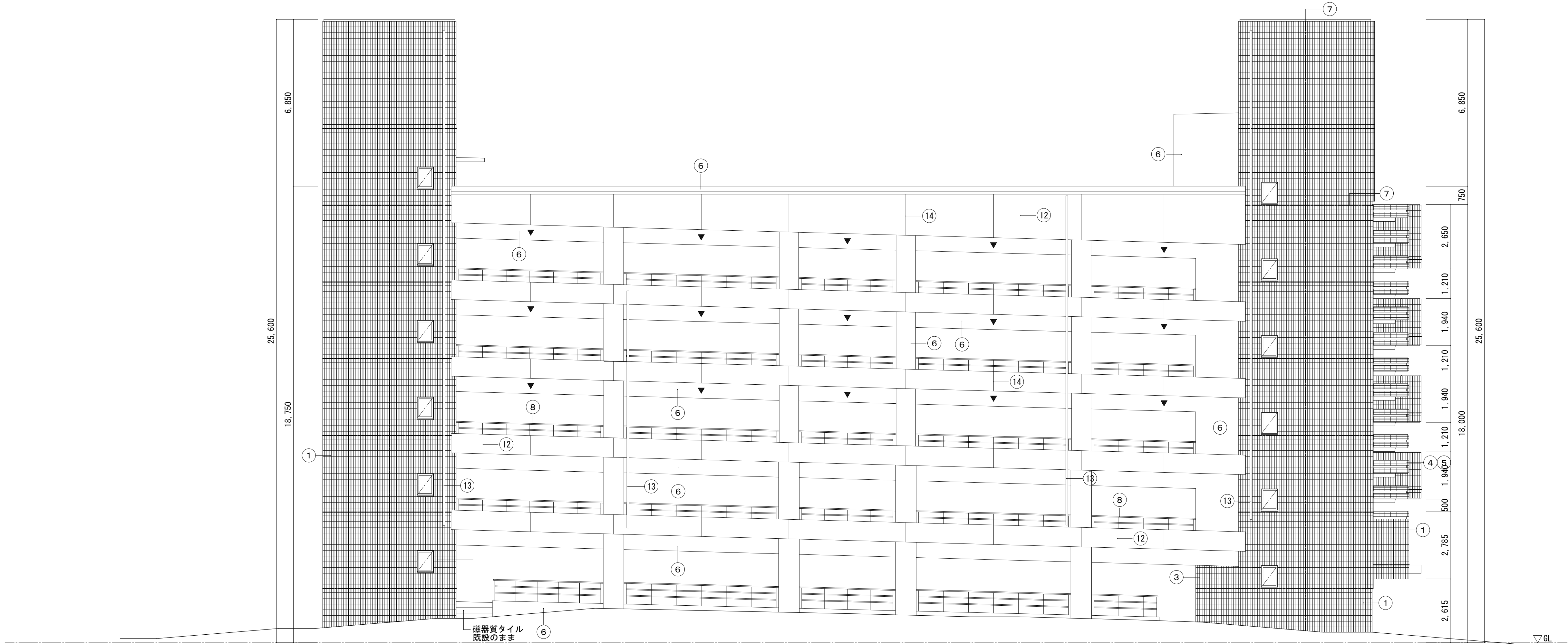


外部仕上表						
①	二丁掛タイル貼	a (リブ付)	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去、タイル役物	▼	進入口用三角マーク 撤去
②	二丁掛タイル貼	b (曲面)	⑩	庇 ステンレス製		
③	二丁掛タイル貼	c (平板)	⑪	サイン ステンレス製		
④	二丁掛タイル貼	a・c 模様	⑫	特殊型枠コンクリート打放し		
⑤	PC版ルーバー	：コンクリート打放し	⑬	竖樋：VP75、VP125 継手以外撤去		
⑥	合板型枠コンクリート打放し		⑭	化粧目地		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)撤去		⑮	ウレタン塗膜防水 (X-2)		
⑧	手摺 鋼製FP		⑯	コンクリート打放し AP塗		



南 立面図

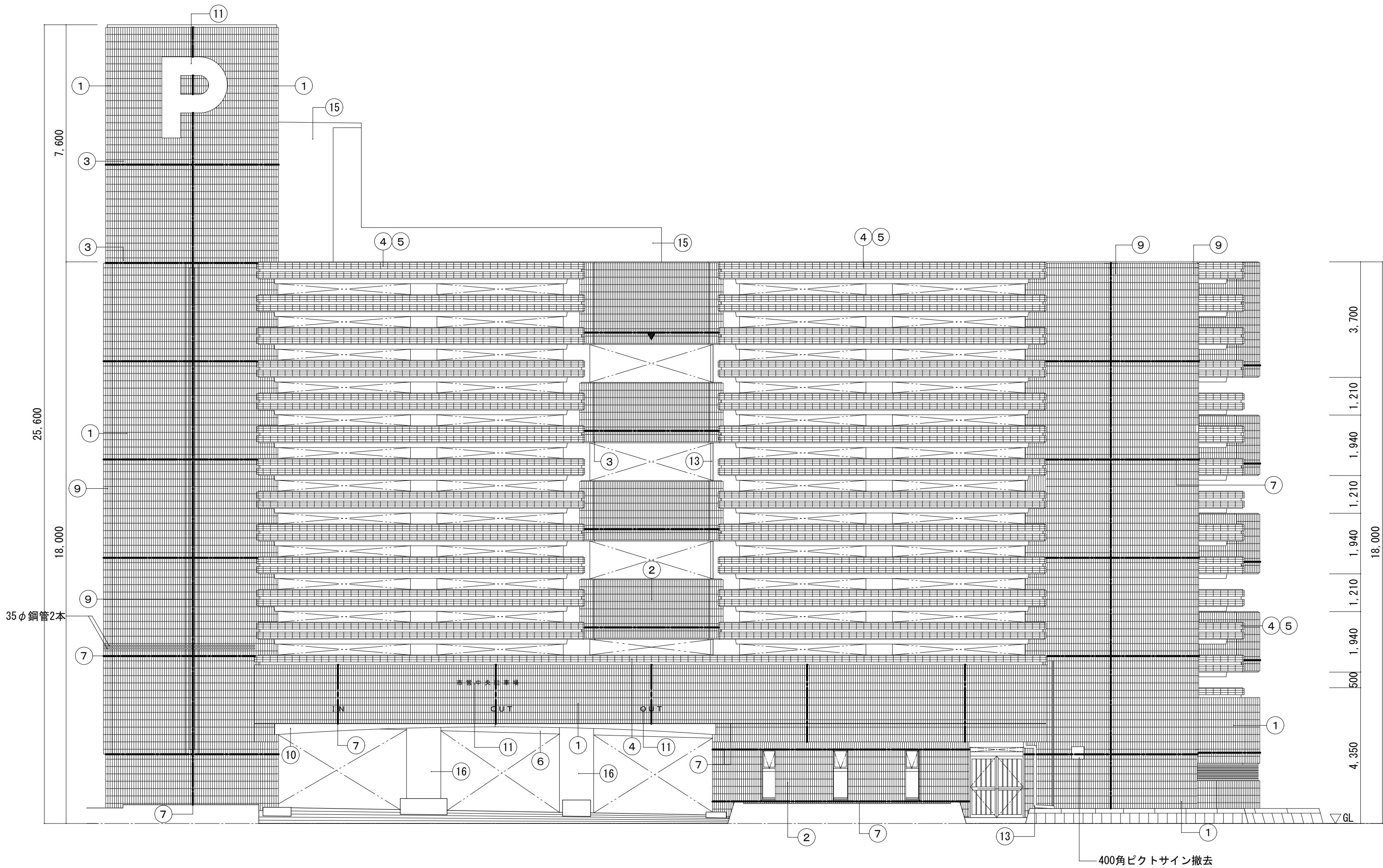
外部仕上表						
①	二丁掛タイル貼	a (リブ付) 水洗い	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設、タイル役物 水洗い	▼	進入口用三角マーク 新設
②	二丁掛タイル貼	b (曲面) 水洗い	⑩	庇 ステンレス製 既設のまま		
③	二丁掛タイル貼	c (平板) 水洗い	⑪	サイン ステンレス製 既設のまま		
④	二丁掛タイル貼	a・c 模様 水洗い	⑫	特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え		
⑤	PC版ルーバー	コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	⑬	縦樋：VP75、VP125 新設 (摺み金物共) 継手部：清掃の上、DP塗替え (上塗り2回)		
⑥	合板型枠コンクリート打放し	水洗いの上、撥水剤塗替え	⑭	化粧目地 既設のまま		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)新設		⑮	ウレタン塗膜防水 (X-2) 既設のまま		
⑧	手摺 鋼製FP	下地調整の上、DP塗替え	⑯	水洗いの上、可とう形改修塗材E		



南 立面図

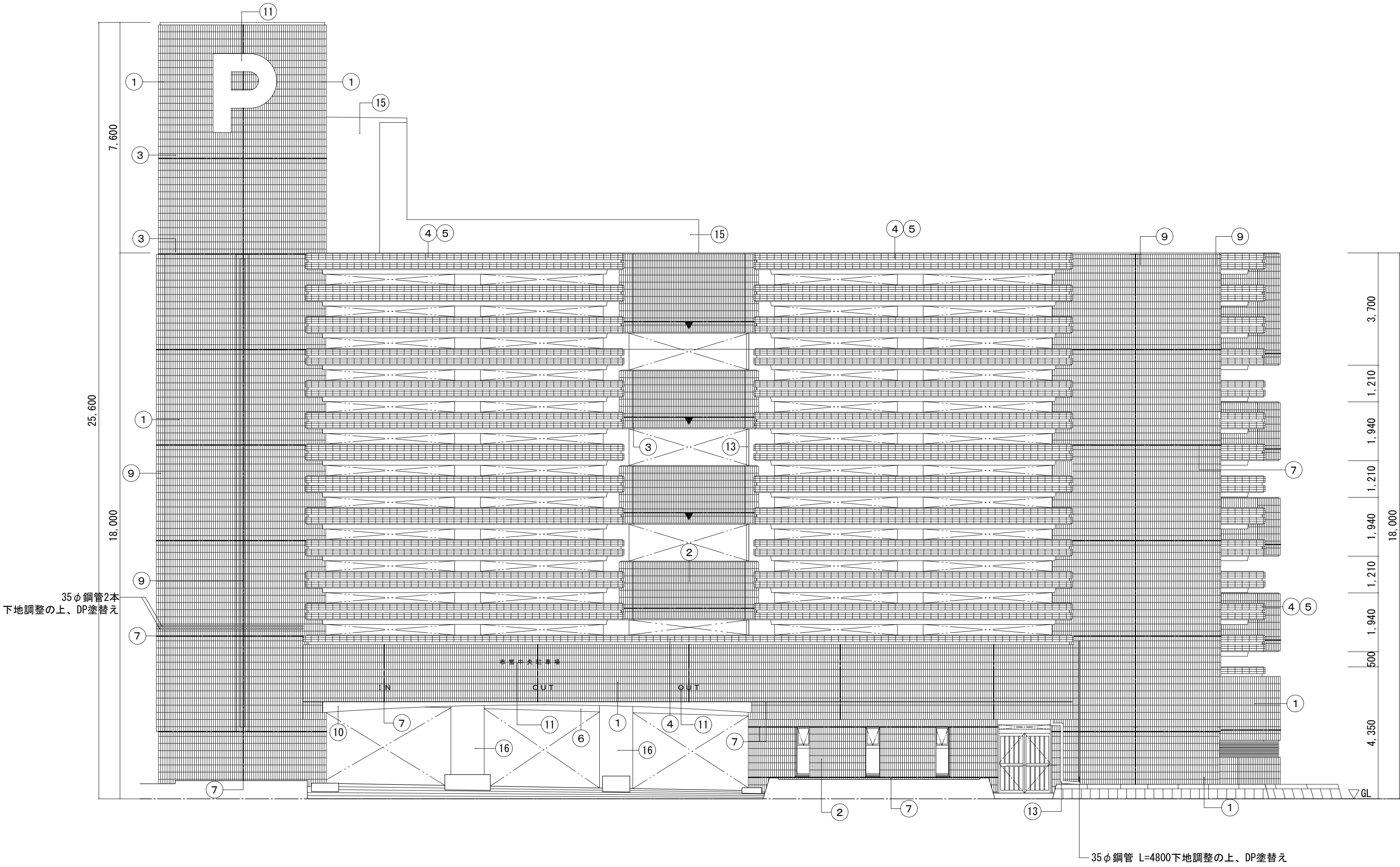
- 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。
- タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。
- タイル割れ部分は、カッター入れの上、撤去・新設とする。
- ひび割れ幅0.2～1.0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。
- コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。
- 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗 (2回塗り) とする。
- ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。
- 20φ以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗 (下塗り無し) とする。
- 20φ以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗 (垂鉛めっき面程度) とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。
- 外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング (MS-2) 撤去・新設とする。
- 設備機器裏面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

外部仕上表						
①	二丁掛タイル貼	a (リブ付)	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去、タイル役物	▼	進入口用三角マーク 撤去
②	二丁掛タイル貼	b (曲面)	⑩	庇 ステンレス製		
③	二丁掛タイル貼	c (平板)	⑪	サイン ステンレス製		
④	二丁掛タイル貼	a・c 模様	⑫	特殊型枠コンクリート打放し		
⑤	PC版ルーバー	：コンクリート打放し	⑬	竖樋：VP75、VP125 継手以外撤去		
⑥	合板型枠コンクリート打放し		⑭	化粧目地		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2 (特記外20 x 10)撤去		⑮	ウレタン塗膜防水 (X-2)		
⑧	手摺 鋼製 F P		⑯	コンクリート打放し AP塗		



東 立面図

外部仕上表						
①	二丁掛タイル貼	a (リブ付) 水洗い	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設、タイル役物 水洗い	▼	進入口用三角マーク 新設
②	二丁掛タイル貼	b (曲面) 水洗い	⑩	庇 ステンレス製 水洗い		
③	二丁掛タイル貼	c (平板) 水洗い	⑪	サイン ステンレス製 既設のまま		
④	二丁掛タイル貼	a・c 模様 水洗い	⑫	特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え		
⑤	P C版ルーバー：コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え		⑬	縦樋：VP75、VP125 新設（掴み金物共） 継ぎ手部：清掃の上、DP塗替え（上塗り2回）		
⑥	合板型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え		⑭	化粧目地 既設のまま		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2（特記外20 x 10）新設		⑮	ウレタン塗膜防水（X-2）既設のまま		
⑧	手摺 鋼製 F P 下地調整の上、DP塗替え		⑯	水洗いの上、可とう形改修塗材E		

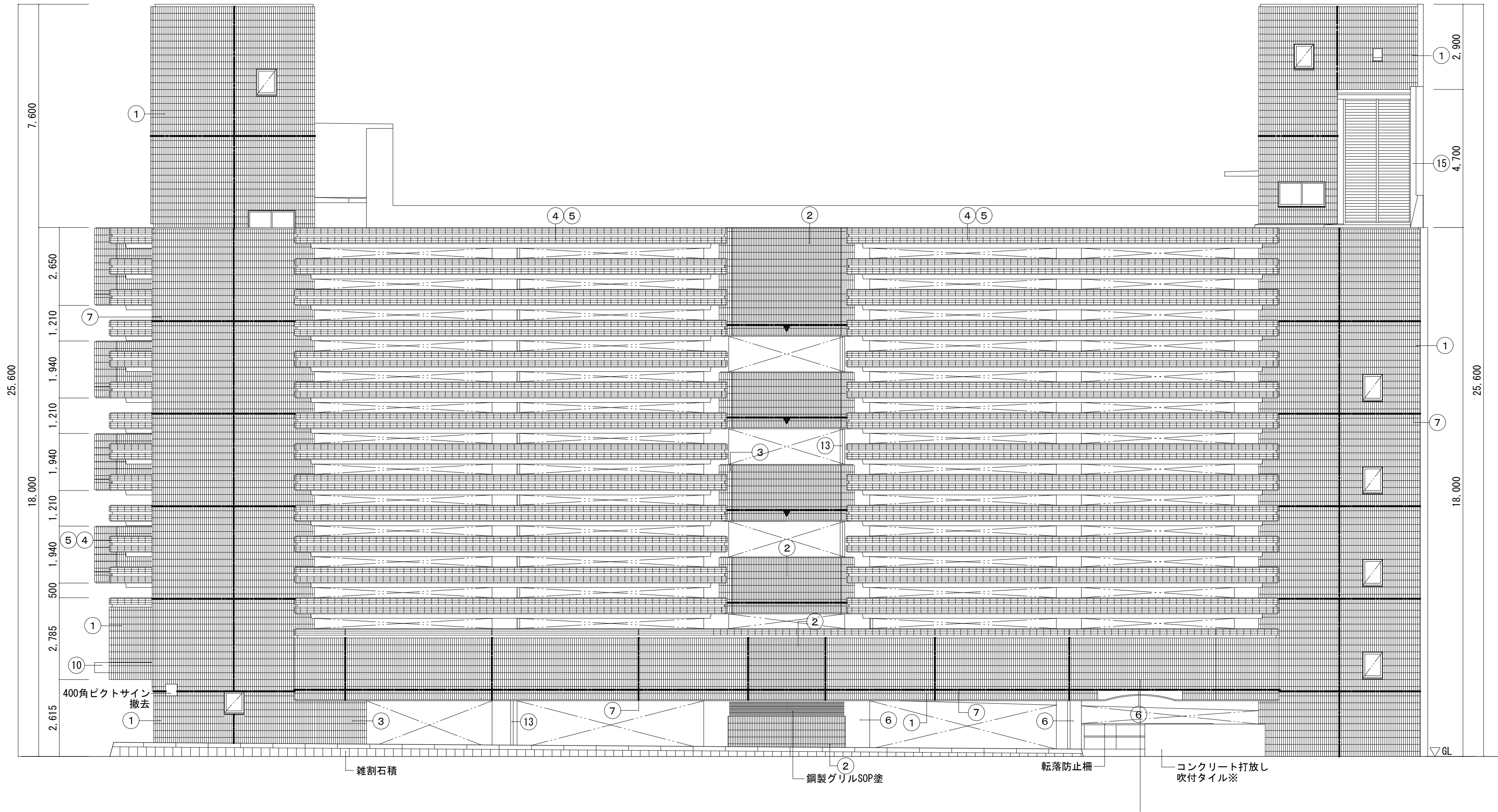


東 立面図

- 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。
- タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。
- タイル割れ部分は、カッター入れの上、撤去・新設とする。
- ひび割れ幅0.2～1.0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。
- コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。
- 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗（2回塗り）とする。
- ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。
- 20φ以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗（下塗り無し）とする。
- 20φ以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗（垂鉛めっき面程度）とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。
- 外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング（MS-2）撤去・新設とする。
- 設備機器裏面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

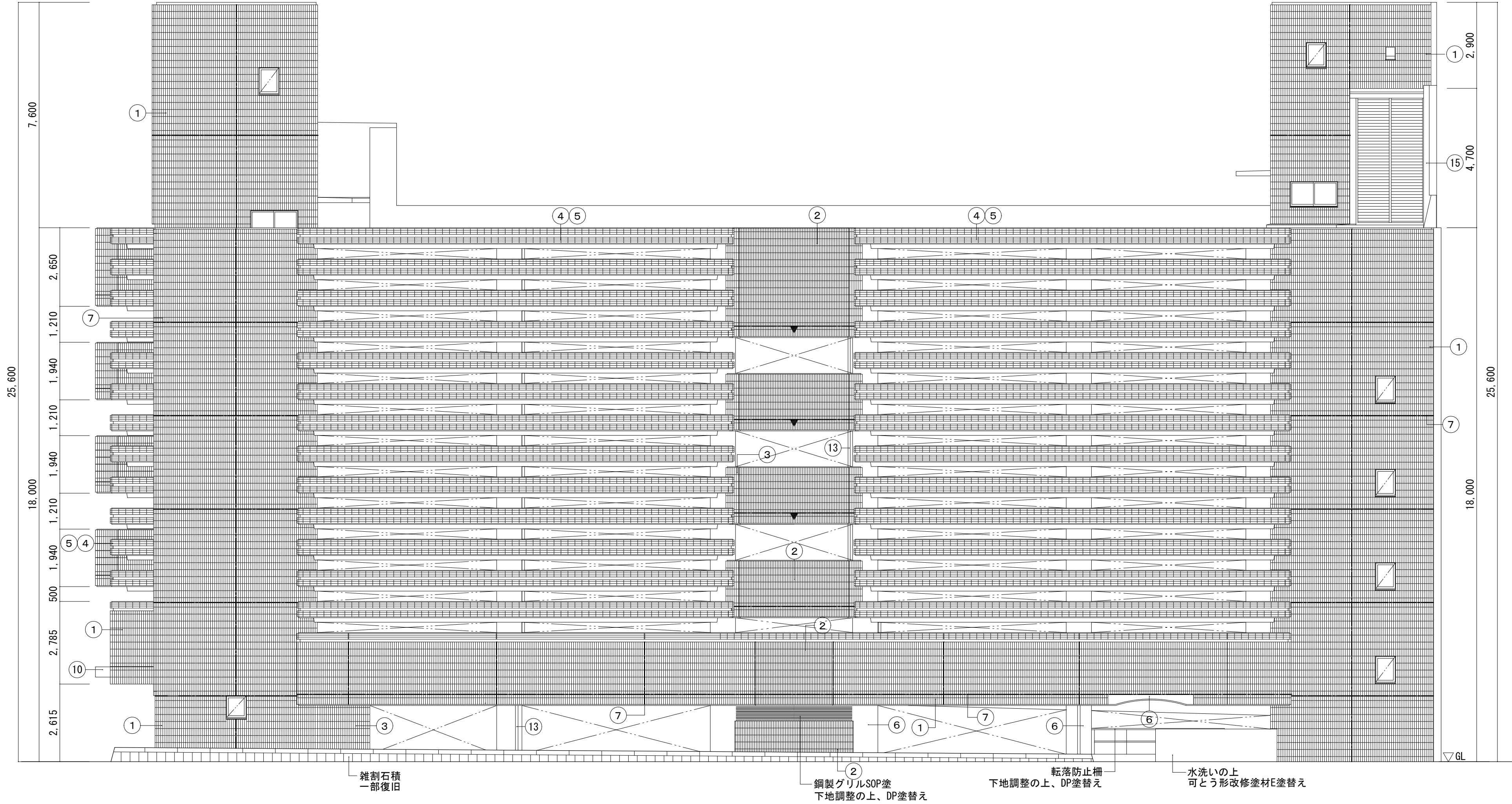
外部仕上表					
①	二丁掛タイル貼 a（リブ付）	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去、タイル役物	▼	進入口用三角マーク 撤去
②	二丁掛タイル貼 b（曲面）	⑩	庇 ステンレス製		
③	二丁掛タイル貼 c（平板）	⑪	サイン ステンレス製		
④	二丁掛タイル貼 a・c模様	⑫	特殊型枠コンクリート打放し		
⑤	PC版ルーバー：コンクリート打放し	⑬	縦樋：VP75、VP125 継手以外撤去		
⑥	合板型枠コンクリート打放し	⑭	化粧目地		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2（特記外20 x 10）撤去	⑮	ウレタン塗膜防水（X-2）		
⑧	手摺 鋼製FP	⑯	コンクリート打放し AP塗		

※アスベスト含有建材



北 立面図

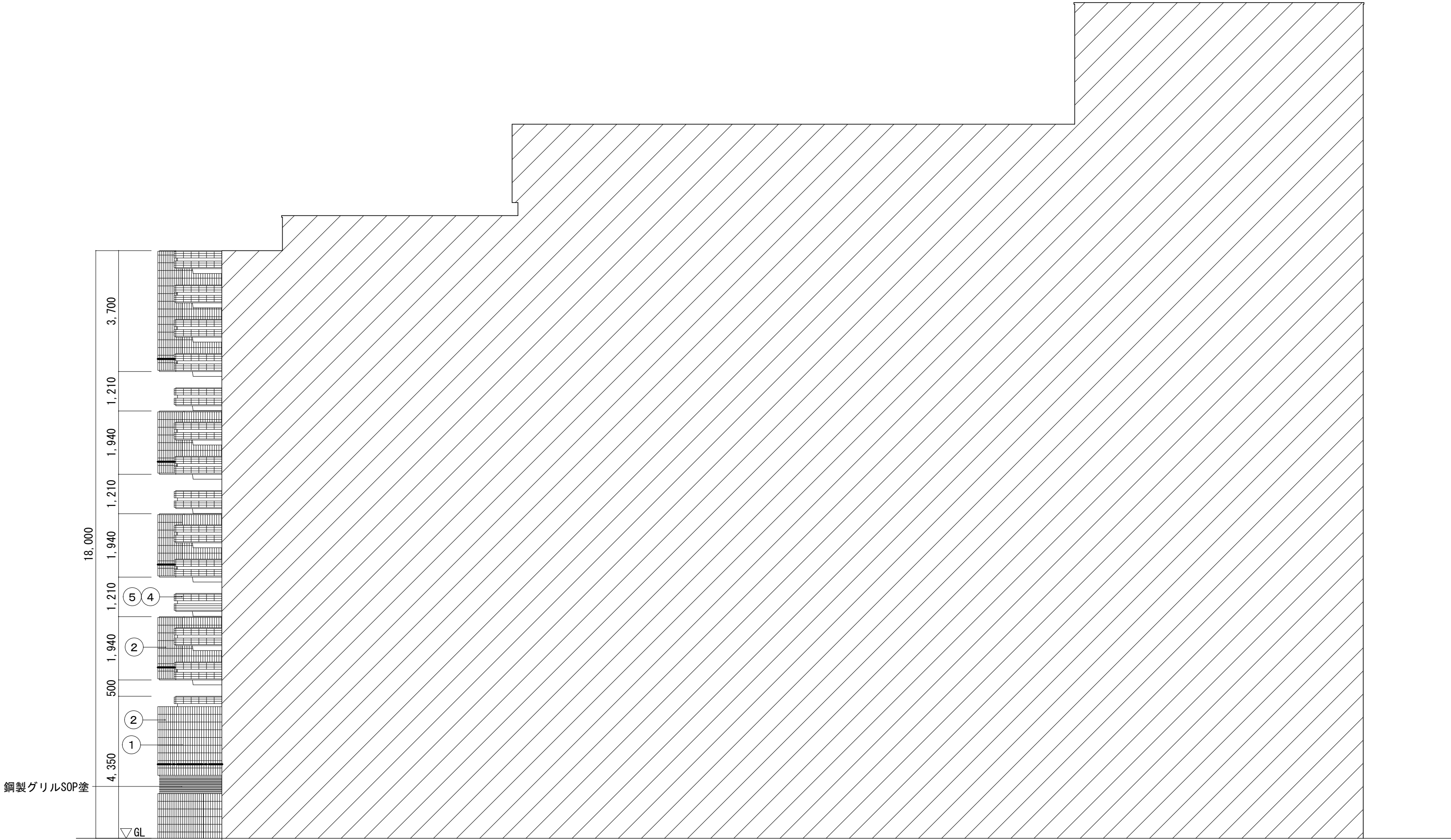
外部仕上表						
①	二丁掛タイル貼	a (リブ付) 水洗い	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 新設、タイル役物 水洗い	▼	進入口用三角マーク 新設
②	二丁掛タイル貼	b (曲面) 水洗い	⑩	庇 ステンレス製 水洗い		
③	二丁掛タイル貼	c (平板) 水洗い	⑪	サイン ステンレス製 既設のまま		
④	二丁掛タイル貼	a・c模様 水洗い	⑫	特殊型枠コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え		
⑤	P C版ルーバー	：コンクリート打放し 水洗いの上、撥水剤塗替え	⑬	縦樋：VP75、VP125 新設（摺み金物共） 継手部：清掃の上、DP塗替え（上塗り2回）		
⑥	合板型枠コンクリート打放し	水洗いの上、撥水剤塗替え	⑭	化粧目地 既設のまま		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2（特記外20 x 10）新設		⑮	ウレタン塗膜防水(X-2) 既設のまま		
⑧	手摺 鋼製F P	下地調整の上、DP塗替え	⑯	水洗いの上、可とう形改修塗材E		



北 立面図

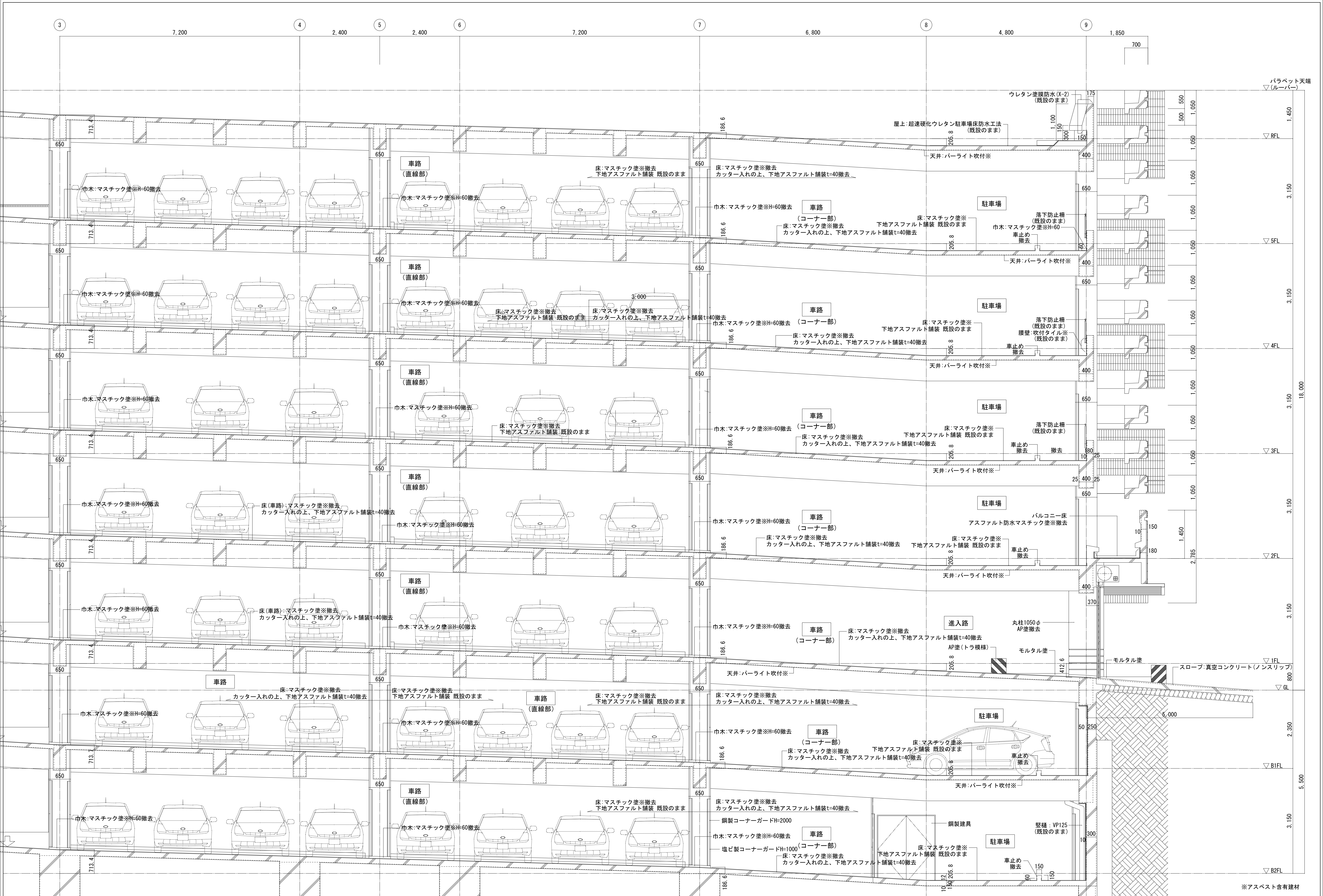
- 特記なき外壁仕上げは水洗いとする。
- タイル浮き部分は、アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法とする。
- タイル割れ部分は、カッター入れの上、撤去・新設とする。
- ひび割れ幅0.2～1.0mmは、自動式低圧樹脂注入工法とする。
- コンクリート、モルタル欠損部分は、エポキシ樹脂モルタル充填工法とする。
- 鋼製既設電気盤、設備配管類は、清掃の上、DP塗（2回塗り）とする。
- ステンレス設備ボックス、支持金物、換気フード等は、水洗いとする。
- 20φ以上の樹脂製設備配管、樹脂製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、清掃の上、DP塗（下塗り無し）とする。
- 20φ以上の鋼製設備配管、鋼製設備ボックス、支持金物、換気フード等は、下地調整の上、DP塗（垂鉛めっき面程度）とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等は、養生を行うこと。
- 外壁を貫通している配管周囲、設備機器周囲は、全てシーリング(MS-2)撤去・新設とする。
- 設備機器表面は、塗装出来る範囲まで施工すること。

外部仕上表					
①	二丁掛タイル貼 a（リブ付）	⑨	飾り目地シーリングPS-2 20x10 撤去、タイル役物	▼	進入口用三角マーク 撤去
②	二丁掛タイル貼 b（曲面）	⑩	庇 ステンレス製		
③	二丁掛タイル貼 c（平板）	⑪	サイン ステンレス製		
④	二丁掛タイル貼 a・c 模様	⑫	特殊型枠コンクリート打放し		
⑤	P C版ルーバー：コンクリート打放し	⑬	竖樋：VP75、VP125 継手以外撤去		
⑥	合板型枠コンクリート打放し	⑭	化粧目地		
⑦	伸縮目地シーリングPS-2（特記外20 x 10）撤去	⑮	ウレタン塗膜防水（X-2）		
⑧	手摺 鋼製 F P	⑯	コンクリート打放し AP塗		



西 立面図





工事名称
★ 市営中央駐車場及び市庁舎北館改修工事

図面名称
★ 市営中央駐車場 矩計図(1) (改修前)

縮尺
★ A1: 1:50
★ A3: 1:100

日付
★

訂正
★

担当
★

承認
★

備考
★

藤川設計株式会社

一級建築士登録 338601
治田 聡

A-33



